

# 年報

NO.16

昭和60年度  
佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館



佐賀県立博物館・佐賀県立美術館 全景

# 目 次

はじめに .....	4	〔佐賀県立美術館〕	
		美術館の沿革 .....	43
〔佐賀県立博物館〕		美術館日誌 .....	43
博物館の沿革 .....	5	規模及び施設 .....	44
博物館日誌 .....	5	60年度歳出予算 .....	44
規模および施設・組織 .....	6	◦事業の実施状況 .....	45
60年度職員名簿・人事異動 .....	7	1. 常設展 .....	45
60年度歳出予算 .....	7	2. 常設特別展 .....	46
◦事業の実施状況 .....	8	3. 企画展 .....	48
1. 常設展 .....	8	4. 観覧状況調べ .....	52
2. 企画展 .....	11	5. ホール・画廊・研修室催しもの .....	56
3. 観覧状況調べ .....	28	◦資料の概要 .....	57
4. 普及活動 .....	30	1. 購入資料 .....	57
5. 資料調査 .....	30	2. 寄贈資料 .....	58
◦資料の概要 .....	34	3. 寄託資料 .....	59
1. 購入資料 .....	34	佐賀県博物館及び美術館協議会 .....	60
2. 寄贈資料 .....	35	60年度職員名簿 .....	61
3. 寄託資料 .....	36	案内図 .....	62
4. 購入・寄贈図書 .....	37		
◦茶室「清恵庵」の管理と運営の概況 .....	42		
1. 茶室の規模および施設 .....	42		
2. 茶室の利用状況 .....	42		
3. 茶道具備品 .....	42		

## はじめに

このたび、昭和60年度の博物館・美術館の事業概要をとりまとめました。当60年度は昭和45年にオープンした博物館、昭和58年度にオープンした美術館にとりましてそれぞれ16年目・3年目にあたります。開館以来、合せて170万人以上の方々の入館をいただき、着実な歩みを続けてまいりました。

これも佐賀県民をはじめとする御利用者の御理解と温かい御支援のお蔭と感謝申し上げます。

さて、昭和60年度の博物館の事業は、常設展では「佐賀県の歴史と文化」をテーマに佐賀県の自然と風土を背景に郷土の人々がどのように生活し、また、文化をいかに育ててきたかを自然史・考古・歴史・美術・工芸・民俗の各部門に分け、貴重な原資料を用いて系統的に理解いただけるように努めました。

企画展においては「古代史発掘」—新出土品にみる九州の古代文化—を開催し、国宝・重要文化財をはじめ600点余の出土品を展覧し、先土器文化の編年の問題から稻作の始まり問題、金属器の伝来と作成、安永田遺跡出土の銅鐸の位置づけ、石人・石馬と埴輪との対比、須恵器の国内での発生の問題など多くの問題提起を行ない、全国から予想以上の観覧者を集めることができました。なお、外部との連携企画展については、35回を迎えた「佐賀県児童生徒理科作品展」は将来のある高・中・小学生の自然科学分野での創造性と柔軟な思考に基づく研究の出発点としての役割を果しました。「よみがえれ佐賀展」は佐賀城をテーマとする楽しい企画や、佐賀の近代教育史など、手づくりの展覧会の良さによって多数の観覧者を集めています。

いっぽう美術館では、常設展で佐賀県が誇れる近代絵画の流れを百武兼行・久米桂一郎・岡田三郎助・小代為重・高木背水などを中心に、彫塑では古賀忠雄、工芸では中里無庵などのレベルの高い作品を展示しています。

企画展は、京都国立近代美術館所蔵品による「近代洋画名作展」を開催し、大正時代から現代にいたる我が国における近代洋画の流れを紹介しました。また、外部との連携企画展については第35回の「佐賀県美術展」で博物館まで利用しての総合美術展を行ない、「佐賀県高校芸術祭」「九州正筆会展」「九州新工芸展」「佐賀県学童美術展」、68回を迎えた伝統ある「佐賀美術協会展」、国際文化交流の「日韓文化交流展」、10回を迎えた「佐賀県書作家協会展」「日本芸術院美術展」「佐賀県現代美術展」など、活発な芸術創作意欲を反映したものとなっています。また、常設特別展として佐賀が誇れる近代書家、副島蒼海（種臣）と中村梧竹の「蒼海・梧竹展」は全日本書写書道教育研究会の佐賀市開催を機に企画され、全国からの観覧者を集めて好評でした。とくに作品の出品に御協力いただいた方々に感謝申し上げます。

なお、新しく収藏された資料としては、近世絵画の草場佩川「花鳥図屏風」、天龍道人「鷹図」近代絵画では岡田三郎助「フローレンス風景」、高木背水「英國風景」、三根霞郷「白梅」など、書では、西川春洞の作品などが購入され、島義勇の書幅など多数の資料を御寄贈いただき資料が一段と充実しました。

さらに附属の美術館ホール、画廊、研修室の利用は一段と充実して嬉しい悲鳴となっています。

今後は博物館・美術館ともに資料の充実、研究体制の強化、教育普及活動の活発化に努め、県民に親しまれる館運営に努力いたしますので、一層の御指導と御支援をお願い申し上げます。

昭和61年9月1日

佐賀県立博物館長 大塚正道  
佐賀県立美術館長

昭和60年度

佐賀県立博物館

## 博物館の沿革

- 昭和26年 4月 1日 佐賀県文化館設置条例制定、佐賀県文化館が設置される。
- 昭和35年 4月 1日 佐賀県文化館設置条例を博物館登録のため改正。博物館法第10条に基づき佐賀県文化館を博物館として登録する。
- 昭和36年、新博物館建設の気運が高まり、41年度に調査費計上。
- 明治百年記念事業として県立博物館を建設することになり、佐賀大学教育学部跡を敷地に選定、昭和43年度に設計を委託し建設計画に着手し、昭和43年度から昭和45年度にわたる継続事業として建設することとなる。
- 昭和44年 1月 21日 佐賀県博物館建設整備委員会を設置。
- 昭和45年 3月 31日 佐賀県文化館設置条件廃止。
- 昭和45年 4月 1日 佐賀県立博物館設置条例公布。佐賀県立博物館協議会条例公布。佐賀県教育庁博物館開設準備事務局設置。
- 昭和45年 7月 1日 佐賀県立博物館完工。佐賀県立博物館設置条例施行。博物館開設準備事務局廃止。博物館職員の発令、館長以下18名。佐賀県立博物館協議会条例施行。
- 昭和45年 7月 16日 佐賀県立博物館協議会委員を任命。
- 昭和45年10月 14日 佐賀県立博物館開館記念式典挙行。
- 昭和47年 3月 4日 鉄器減圧樹脂含浸装置を研究室に設置。
- 昭和48年10月 10日 茶室「清恵庵」を、市村清氏のご遺志により市村幸恵夫人から寄贈を受ける。
- 茶室落成式
- 昭和50年 9月 20日 古賀忠雄作「岬の男」（ブロンズ）前庭に据付完成。
- 昭和51年 9月 18日 皇太子殿下、同妃殿下「柿右衛門名品展」ご観覧のためご来館。
- 昭和51年10月 22日 天皇陛下、皇后陛下「若楠国体芸術展」ご観覧のためご来館。
- 昭和52年12月 12日 佐賀藩鋳造鉄製「カノン砲」（復元）玄関前据付完了。
- 昭和53年 5月 4日 常陸宮殿下、同妃殿下常設展「佐賀県の歴史と文化展」ご観覧。
- 昭和53年11月 5日 茶室「清恵庵」開室5周年記念合同茶会開催。出席者約1,500名。
- 昭和54年 7月 19日 入館者総数100万名に達する。
- 昭和55年 4月 23日 古賀忠雄氏遺作（232点）遺族より寄贈。
- 昭和56年 4月 17日 山口猛彦氏遺作（34点）遺族より寄贈。
- 昭和57年 5月 10日 鍋島則子氏より工芸品（85点）寄贈。
- 昭和58年 2月 7日 御厨俊江氏より御厨純一氏の作品（28点）寄贈。
- （以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。ここには点数の特に多いもののみを記載しました。）

## 博物館日誌（昭和60年度）

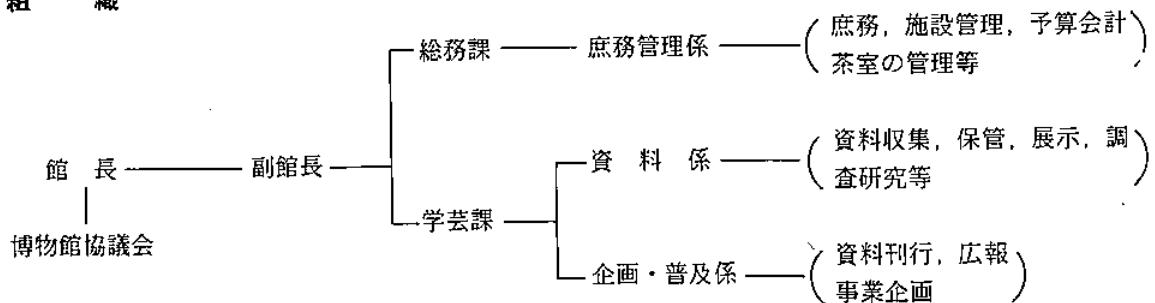
- 4月 1日 職員人事異動
- 4月 5日 第1期常設展「佐賀県の歴史と文化展」（10月20日迄）
- 6月 24日 博物館3号展示室部分展示換え
- 6月 28日 資料燻蒸（7月2日迄）
- 7月 13日 博物館・美術館協議会
- 7月 24日 博物館実習開講式（8月3日迄）
- 7月 26日 考古資料の旧理科センターへの移動
- 7月 29日 大展示室収納スペース改修工事（7月31日迄）
- 7月 30日 博物館3号展示室展示換え（7月31日迄）

8月 10日 博物館大展示室部分展示換え  
 9月 13日 第35回佐賀県児童生徒理科作品展（9月20日迄）  
 9月 28日 第5回よみがえれ佐賀展開場式（10月 6日迄）  
 11月 1日 第35回佐賀県美術展（11月10日迄）  
 11月 16日 第9回佐賀県高等学校芸術祭 美術・書道展（11月24日迄）  
 12月 5日 第2期常設展「佐賀県の歴史と文化展」（1月26日迄）  
 12月 28日 執務納め式  
 1月 4日 執務始め式  
 1月 15日 「成人の日」常設展無料開館  
 1月 16日 「古代史発掘展」普及活動開始（2月 5日迄）  
 2月 8日 古代史発掘展開場式（3月 2日迄）  
 2月 9日 古代史発掘展講演会  
     「近年発見の重要な遺物と九州の古代文化」    講師 森貞次郎博士（九州産業大学教授）  
 2月 23日 古代史発掘展講演会  
     I 「菜畑遺跡と稻作開始期の諸問題」    講師 中島直幸氏（唐津市教育委員会）  
     II 「安永田銅鐸鋳型と弥生人のまつり」    講師 藤瀬禎博氏（鳥栖市教育委員会）  
 3月 1日 博物館・美術館協議会  
 3月 15日 第3期常設展「佐賀県の歴史と文化展」（3月31日迄）  
 3月 17日 植物友の会への感謝状贈呈

#### 規模および施設

構 造	鉄筋コンクリート造	3階建	中展示室	136.0 m <sup>2</sup>
規 模	敷地面積	30,926 m <sup>2</sup>	収蔵庫並整理室	524.0 m <sup>2</sup>
	建築面積	2,149.1 m <sup>2</sup>	研究室	66.0 m <sup>2</sup>
	延床面積	4,638 m <sup>2</sup>	館長室・応接室	60.0 m <sup>2</sup>
(茶室)	構造 木造平屋建		事務室	80.0 m <sup>2</sup>
	規模 床面積	57.35 m <sup>2</sup>	資料調査室	64.0 m <sup>2</sup>
施 設			撮影暗室	24.0 m <sup>2</sup>
ロビー（案内所・常設展受付）		349.5 m <sup>2</sup>	車 庫	56.0 m <sup>2</sup>
1号展示室		193.6 m <sup>2</sup>	荷解場	86.0 m <sup>2</sup>
2号展示室		352.0 m <sup>2</sup>	電気室	48.0 m <sup>2</sup>
3号展示室		484.0 m <sup>2</sup>	ボイラー室（制御室を含む）	181.0 m <sup>2</sup>
大展示室		523.5 m <sup>2</sup>	その他	1,410.4 m <sup>2</sup>

#### 組 織



職員名簿(昭60.4.1現在)

	職名	氏名		職名	氏名
館長		大塚正道	学芸課 資料係 企画普及係	学芸課長	小宮睦之
副館長		神宮忠義		資料係長	森 醇一郎
総務課	総務課長	池田清八		主査	藤口健二
	庶務管理係長	秀島智津		主査	宮原香苗
	主査	古川宣明		学芸員	福井尚寿
	主事	山田洋子		非常勤嘱託	浜野四郎
	主事	中村美沙子		企画普及係長事務取扱	小宮睦之
	主事	大島暁夫		学芸員補	田中裕
	主事	石田誠		学芸員	松本誠一
	事務員	坂井卓次		学芸員	大隈博文
	事務員	小石武彦		学芸員	山崎和文
	技術員	戸川内丘			
	非常勤嘱託	穂月勝次			

人事異動

○転入(昭和60年4月1日付)

副館長 神宮忠義(黒髪少年自然の家より)

学芸課長(企画普及係長事務取扱)

小宮睦之(佐賀北高等学校より)

主査(学芸員)宮原香苗(九州陶磁文化館より)

主事(学芸員補)田中 裕(唐津北高等学校より)

主事 大島暁夫(佐賀農芸高等学校より)

○新採

主事(学芸員)山崎和文

○転出(昭和60年4月1日付)

学芸課長 尾形善郎(文化課長補佐へ)

企画普及係長 志佐憲彦(平山小学校へ)

主事(学芸員補)宇治 章

(九州陶磁文化館へ)

主事 森永 茂(多久工業高等学校へ)

主事 中島保生(図書館へ)

昭和60年度歳出予算(博物館)

科 目	予算額(単位千円)	科 目	予算額(単位千円)
(博物館費)			
1 博物館運営費	39,048	4 企画展費	7,967
管理運営費	38,116	古代史発掘展	7,917
会議及び研修費	568	理科作品展	50
博物館協議会費	364	5 常設展費	1,799
2 資料整備費	16,825	6 普及活動費	56
資料購入費	9,602	研究講座費	27
資料整理費	7,088	巡回展示費	29
資料収集費	135	7 資料刊行費	555
3 調査研究費	901	8 茶室管理費	209
研究費	175		
調査費	726		
次年度調査費	108		
歴史美術調査費	82		
考古資料調査費	86		
調査刊行費	450	計	67,360

# 事業の実施状況

## 1 昭和60年度 常設展(博物館)

第一期 4月1日～10月20日

第二期 12月5日～3月31日

### I 佐賀県の自然(中展示室)

佐賀県が最初に陸地化したのは、約7,000万年前の中世代の終り頃で、地形的には四つに分けられる。中世代の花崗岩を主体とした背振山地と、新生代第三紀の堆積岩と火山岩類の西部地区と、第四紀に形成した多良山地と、第四紀に堆積した佐賀平野とがある。

佐賀の化石ではオオムガイが有名で、その中の一つは日本一大きいもので40cmを超えている。オオムガイが発見される北波多村から多久市にかけての第三紀は、海であった証拠となっている。また動物では、伊万里湾のカブトガニと有明海のシャミセンガイがあり、カブトガニは4億年間生き続けた三葉虫の姿を残し、オオシャミセンガイは日本では有明海にだけ住み、佐賀の人々は「女冠者」として親しんでいる。また、有明海は渡り鳥の中継地として日本最大のもので、春と秋にはツクシガモをはじめ多くの水鳥がおとずれる。

佐賀の県鳥カササギは、国の天然記念物として保護されている。

#### ① 佐賀県のおいたち

佐賀県の地質・化石・県内の岩石

#### ② 佐賀県の野鳥

#### ③ カブトガニの生育と分布

#### ④ 各種模型

### II 原始・古代の郷土(1号展示室)

#### －旧石器時代・縄文時代－

各種石器を唯一の生活利器とした旧石器時代人の生活の場は、鬼ノ鼻山麓・国見山麓・上場台地等において主に発見されている。

中でも、「鬼ノ鼻山」北側山麓に点在する茶園原遺跡や三年山遺跡からは、安山岩を素材にした尖頭状石器が多数発見される。この尖頭状石器は県内で最も古い形式の石器群として編年されており、今から約18,000年前後の狩猟用あるいは防護用道具であったことが推定される。

伊万里市の「腰岳」に産する黒曜石を素材にし

て製作された石器は、旧石器時代末期に編年される細石器が主体となる。これらの石器は、伊万里市の平沢良・鈴桶・白蛇山岩陰の各遺跡や、東松浦半島の原・枝去木・生石・磯道の各遺跡、小川島・馬渡島等でも発見されている。また近年、背振山麓の神崎町内でも発見されはじめた黒曜石の石器には、ナイフ形石器・台形石器・細石刃等があり、主に狩猟用や加工工具として使用されたものと思われる。

縄文時代になると石器と共に成形した粘土を焼成した土器によって、活用困難な食糧源をより積極的に利用・活用することが可能となり、食生活の一層の安定をはかった。

縄文土器の発生は、理化学的な年代測定の結果今から約13,000年前後と推定され、長崎県の福井洞穴や泉福寺洞穴さらには佐賀県の中尾岳洞穴や白蛇山岩陰等で、始源期土器の解明が試みられている。縄文時代の終息は、次の新しい生産手段である稻作農耕技術が朝鮮半島を経て移入される紀元前400年頃とされる。縄文時代は使用された土器の文様から、早・前・中・後・晩の五期に分離することができる。

主な遺跡には、伊万里市の白蛇山岩陰や西有田町の中尾岳洞穴、唐津市の西唐津海底遺跡・佐賀市の丸山遺跡・神崎町の戦場ヶ谷遺跡等がある。

#### ① 石器を使った人々 一旧石器時代-

・石器に使用された原石

・旧石器時代末期の各種石器

#### ② 土器を使うくらし 一縄文時代-

・縄文時代早～前期の土器 ・縄文時代早期の各種石器 ・縄文時代中期の土器 ・縄文時代中期の各種石器 ・縄文時代後期の土器  
・縄文時代晚期の土器

#### 一弥生時代・古墳時代-

弥生文化は稻作の開始、大陸系磨製石器や金属器の使用、紡織技術の受容等で特徴づけられる。しかし、近年の調査（唐津市菜畑遺跡・福岡市板付遺跡・福岡県曲り田遺跡）によってこれら諸要素が縄文時代晚期後半に、すべて崩っていることが明らかとなり、この時期を弥生文化早期と設定する考えも提出されている。弥生時代における文

化交流は多様であり、常設展では南方との交易を示す巻貝製飾り、朝鮮製青銅器など前期末の資料と、中期中頃以降に流入する漢式鏡等を展示。

近年の調査の成果の一つに、輸入品といわれていた細形武器類のうちに国産があることを証明した惣座遺跡出土の鋳型がある。惣座遺跡出土矛鋳型と共に、弥生時代中期前半には青銅器の国産開始が知られる。

祭祀用の青銅製品の鋳造は、武器形以外に銅鐸も安永田遺跡の出土例から知られる。佐賀平野東部から集中的に出土している鐸形土製品は、銅鐸の影響というよりも朝鮮式小銅鐸の系譜をひくもので、武器形以外に九州でも鐸形祭祀が集落ごとに行われたことを示している。

佐賀県における幾内型古墳の伝播は、玄界灘沿岸地域では経塚山古墳や杁路寺古墳など4世紀後半代に認められる。佐賀平野東部地域では庄内系の壺を出した西一本杉古墳や布留式土器を出した上峰五本谷方形周溝墓が成立する。同西部地域では三日月町下久米や戊等でも方形周溝墓が出現する。これらの時期の古墳は、鳥栖市赤坂古墳・小城町寄居古墳が近年発見された。また、諸富町では庄内系と吉備系土器が集落跡で共伴するなど、古墳時代開始期の様相は複雑である。

丸山古墳群は5~6世紀代の古墳（石室）の展示場ともいべき多様性がある。舟形石棺は、八女地方に分布する阿蘇熔結凝灰岩製である。この種の凝灰岩は6世紀まで利用されたもので、八女地方つまり筑後國造の本貫地としての永い文化的あるいは政治的関係を推測させるものである。装飾古墳も石人石馬と共に、筑肥の特色ある古墳文化の一つである。

#### ① 水稲農耕社会の発展－弥生時代－

- ・土器の変遷　・農耕具の発達　・弥生人の装身具　・副葬品による青銅器　・鉄製武器の発達　・弥生人のまつり

#### ② 古墳が築かれたところ－古墳時代－

- ・4世紀～5世紀前半の古墳の副葬品　・土師器と須恵器　・丸山古墳群出土品　・花納丸古墳出土品　・武器、武具、馬具類　・田代太田古墳　・古墳出土の装身具

#### ③ 律令の時代－奈良時代－

### III 古代・中世の郷土（2号展示室）

古代から中世にかけての郷土の最大の事件は元寇であろう。13世紀末に2度来襲した元の大軍は松浦党や西国武将の活躍で退けることができたがこの事件によって鎌倉幕府は滅亡を早めた。

古代・中世の中で年代が明確にされる資料として、千葉県で発見された「<sup>(774)</sup>以宝亜五年二月十二日佐嘉郡椅寺之鐘」の陽鑄銘のある銅鐘がある。次いで、平安時代の作例である三田川町東妙寺の木造聖観音立像や久保田町三学寺の木造天部形立像などの、力強い木造の仏像があげられる。

鎌倉時代には写実的な仏像が好まれ、大和町高城寺の木造円鑑禪師坐像のような優れた頂相彫刻が残されている。南北朝時代には、大和町高城寺の木造地蔵菩薩坐像にみられるように、衣の襞にまで写実性を求めるようになり、次第に仏像は人間的になってゆく。また、中世には中国・朝鮮半島との交易も盛んに行われ、鹿島市普明寺の銅造菩薩形坐像のような高麗美術の優品も伝えられた。

こうした古代・中世の日常生活を物語るものとして、器や鍋・下駄などが三田川町下中村遺跡など県内各地から出土している。

#### 郷土の仏教美術

- ・聖観音立像　・木造天部形立像　・絹本着色両界曼茶羅図　・紙本墨画淡彩東妙寺古図
- ・紙本墨書大般若經絶簡　・絹本着色阿弥陀八大菩薩像　・絹本着色阿弥陀八大菩薩像　・紙本墨画淡彩楊柳觀音像　・紙本墨書妙法蓮華經　・経塚出土品　・廃寺跡出土古瓦　・梵鐘　・絹本着色十王図

### IV 近世のあゆみ（2号展示室）

肥前の統一は、龍造寺一族の台頭のきっかけをなした今山合戦で、合戦に関した龍造寺隆信の成松信勝への感謝状や、上松浦の領袖波多三河守親の書状等で知ることができる。

名護屋城図屏風は、豊臣秀吉の朝鮮への出兵時の築城の模様を描いたものである。慶長年中肥前国絵図は、各大名が協力して作製したもので、幕府が全国を国単位で支配しようとした意図を読み取ることができ、統一前後の肥前の模様を物語っている。

幕末、佐賀藩の藩主鍋島直正は、近代的科学技術の導入と海軍力の増強に力を注ぎ、側近の一人であった古川松根の記したオランダ船乗組図では蘭癖大名の直正をかいま見ることができる。

山本常朝が「はがくれ」を書くが、すぐれた文人であったことにも注目される。佐賀藩の教育の中核をなした弘道館は、明治維新期に活躍をした多くの人々を輩出したが、七賢人は最も著名な人達であった。

- ① 肥前の統一
- ② 肥前名護屋城の築城
- ③ 長崎警備
- ④ 幕末の対外情勢
- ⑤ 鍋島直正の登場
- ⑥ 反射炉の築造
- ⑦ 長崎海軍伝習所
- ⑧ 藩政期の文教
- ⑨ 近世より近代へ

#### V 郷土の工芸（3号展示室）

肥前の近世における陶磁器は、時代やその形態の特色から、古唐津系・初期伊万里様式・17世紀後半から大量に生産された古伊万里様式・ヨーロッパで人気を集めた柿右衛門様式・秘窯大川内山で作られた鍋島様式の5つの様式に分類されている。

染色の分野でも鍋島更紗が生産され、陶磁器と共に、肥前に於ける工芸史の分野に大きな特色を有している。

- ① 古唐津陶器
- ② 肥前磁器創業期磁器
- ③ 古伊万里様式磁器
- ④ 柿右衛門様式磁器
- ⑤ 鍋島藩窯様式磁器
- ⑥ 肥前の染織

#### VI 肥前の近代絵画と近代の書（3号展示室）

肥前のうち長崎においては外国との交渉により洋画派・沈南蘋派などが生まれ、絵画史上大きな影響を与えたといえる。一方、佐賀藩・唐津藩における画壇は、必ずしも活発ではなく、主導的立場にあるべきお抱絵師に至っても、その系譜は極めて断続的であった。しかしながら幕末頃から異彩を放った絵師があらわれはじめ、近代の百武兼行らの活躍の基礎を築いたかに思われる。

明治2年に佐賀本藩絵師となった小原友閑斎、多久出身の儒者で南蘋派の画家としても知られる草場佩川、鍋島閑叟の近侍を務め多芸多才を発揮した古川松根をはじめ、幕末・明治に活躍した弘道館教諭武富坦南、武雄邑のお抱絵師広渡心海、

唐津藩のお抱絵師長谷川雪塘、久保田出身の南画家高柳快堂等が優れた作品を残している。

近代は、書においても芸術性の追求が盛んになる時期である。本県関係では、明治の元勲副島種臣（蒼海）や当時「銀座の書聖」と呼ばれた中林隆經（梧竹）、さらには唐津藩の西川春洞らが能書家として知られる。梧竹晩年の「漢詩屏風」、蒼海の60才前後の作と思われる「楚辭漁父」や晩年75才の「七言絶句三行書」、それに漢詩のみならず和歌も勘能だったことも物語る「富士山図並題」等の優品が残されている。

#### VII 郷土の民俗（大展示室）

郷土の民俗では、歴史を民俗的視野から概観できるよう試みている。

とくに、国の重要有形民俗文化財に指定されている有明海漁撈具は内容・量ともに充実しており幕末から明治初頭にかけての作と思われる「有明海漁業実況図」（松田房亮筆・全23図）と共に、有明海の漁撈習俗を十分に知ることができる。また、有明海関係の資料として昭和42年7月1日の狩猟法改正の時期まで使用されていた鴨銃とその弾丸製作工程は、当時の有明海における狩猟の状況を知ることが可能といえよう。

農業関係の資料としては、灌漑・害虫駆除に苦しんだ時期にあたる明治・大正年間を中心として使用された各種農具があり、佐賀農業の発展を願う農民の強い意志がうかがわれ、様々な工夫がなされていることも知ることができる。

その他、鳥栖市田代を中心とした製薬・売薬関係資料、東松浦郡相知町横枕の大甕製作用具や韓国で使用されている製陶用具、名護屋の海士を含む玄海の漁撈具等が、佐賀の民俗を特色づけている。

- ① 佐賀の民俗行事写真パネル
- ② 住まいの道具
  - ・収納家具
  - ・あかり
- ③ 佐賀県農業のあゆみ
  - ・耕作用具
  - ・管理用具
  - ・収穫用具
  - ・調整用具
  - ・泥土揚げ用具
- ④ 有明海の漁業
  - ・干潟漁業と用具
  - ・養殖と採捕用具
  - ・のり養殖
  - ・有明海漁業実況
  - ・船で使う生活用具
  - ・捕鯨業の歴史と捕鯨用具
  - ・名護屋の海士
  - ・釣漁

- ⑤ 相知町横枕の大甕づくり
- ⑥ 韓国の製陶用具
- ⑦ 製薬関係資料

## 2 企画展

古代史発掘展 一新出土品にみる九州の古代文化—  
 主 催 佐賀県教育委員会・佐賀県立博物館  
 会 期 昭和61年2月8日(土)～3月2日(日)  
 会 場 佐賀県立博物館 2号・3号展示室  
 観覧料 大人 500円(400円)  
         大・高生 250円(150円)  
         中・小生 150円(100円)  
 ( )は団体料金 団体は20名以上

### 展示概況

近年の発掘調査によって、九州においても日本の原始・古代文化を考える上で貴重な資料の発見が相次いでいる。それらは、かつての認識を深めるとともに、その歴史的意味についても再検討を迫る発見もある。

本展は九州各地で進められている発掘調査研究活動の最新の成果と近畿地方出土の関連資料を紹介し、九州の原始・古代文化の特色をさぐるもの

であった。

展示の構成は次のとおりである。

### I 旧石器文化の解明

—降下した火山灰を求めて—

### II 始源期土器の探究

—日本最古の土器群を求めて—

1. 日本最古の土器群を求めて
2. 黒曜石の分布

### III 弥生文化の解明 —米・青銅・鉄—

1. 稲作農耕文化の形成
  - (1) 形成期の稻作文化
  - (2) 稲作文化の東進
2. 青銅器をめぐる諸問題
  - (1) 朝鮮系無文土器
  - (2) 中国系文物
  - (3) 青銅武器
  - (4) 銅鐸・その他の青銅器・ガラス
3. 初期鉄器の生産と普及

### IV 古墳文化の新資料 —石盾・須恵器—

1. 石人石馬文化の新発見
2. 須恵器のはじまり
- (付) 新発見の文化財

# 古代史発掘展

—新出土品にみる九州の古代文化—



## 出 品 目 錄

### I 旧石器文化の究明 - 降下した火山灰を求めて -

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
1	ナイフ形石器	5	磯道遺跡	肥前町入野字磯道	肥前町教育委員会
	台形石器	6	"	"	"
	細石核	1	"	"	"
	接合資料	2	"	"	"
2	ナイフ形石器	6	生石遺跡	肥前町大浦字生石	肥前町教育委員会
	彫器	2	"	"	"
	削器	2	"	"	"
	細石刃	5	"	"	"
	石核	2	"	"	"
3	ナイフ形石器	5	馬部甚蔵山遺跡	唐津市枝去木字甚蔵山	唐津市教育委員会
	台形石器	5	"	"	"
	磨製石斧	1	"	"	"
4	ナイフ形石器	6	枝去木山中遺跡	唐津市枝去木字山中	唐津市教育委員会
	台形石器	3	"	"	"
	石核	3	"	"	"
	土器片	5	"	"	"
5	舟底形石器	10	長尾開拓遺跡	多久市南多久町長尾米満	佐賀県教育委員会
	縦長剝片	10	"	"	"
	石核	10	"	"	"
6	尖頭器	5	茶園原遺跡	多久市多久町字西畠	多久市教育委員会
7	台形石器	10	山王遺跡	多久市多久町字山王	佐賀県教育委員会
	ナイフ形石器	3	"	"	"
	剝片尖頭器	1	"	"	"
8	ナイフ形石器(九州系)	9	船塚遺跡	神埼町大字志波屋	神埼町教育委員会
	ナイフ形石器(国府系)	6	"	"	"
	台形石器	3	"	"	"
	剝片尖頭器	6	"	"	"
9	ナイフ形石器	10	百花台遺跡	長崎県南高来郡国見町多比良	長崎県教育委員会
	台形石器	10	"	"	"
	剝片尖頭器	10	"	"	"
	削器	2	"	"	"
	礫器	1	"	"	"
	剝片	5	"	"	"

No	名 称		出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保 管 者
9	搔 器	3	百 花 台 遺 跡	長崎県南高来郡国見町多比良	長崎県教育委員会
	石 器	6	"	"	"
10	ナイフ形石器	5	日 ノ 岳 遺 跡	長崎県北松浦郡田平町 大久保免字日ノ岳	長崎県立美術博物館
	台形石器	5	"	"	"
	彫 器	3	"	"	"
	搔 器	3	"	"	"
	石 核	3	"	"	

II 始源期土器の探求　－日本最古の土器群を求めて－

No	名 称		出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
	豆粒文土器復元	1	泉 福 寺 洞 穴	長崎県佐世保市漸戸越町 字城ノ口	佐世保市博物館
	豆粒文土器（10層）	6	"	"	"
	豆粒文土器（9層）	7	"	"	"
	隆起線文土器片（10層）	4	"	"	"
	隆起線文土器片（8層）	2	"	"	"
	豆粒文土器に伴う				
	ブランク	2	"	"	"
	細石核	3	"	"	"
	細製剝片	3	"	"	"
	細石刃	1括	"	"	"
	石 刃	2	"	"	"
	礫 器	1	"	"	"
	搔 器	2	"	"	"
	敲 石 (ハンマーストーン)	2	"	"	"
	隆起線文土器に伴う				
	ブランク	2	"	"	"
	細石核	3	"	"	"
	細石刃	1括	"	"	"
	搔 器	2	"	"	"
	石 刃	1	"	"	"
	細製剝片	2	"	"	"
	彫 器	1	"	"	"
	細石核	2	白蛇山岩陰遺跡	伊万里市東山代町脇野	佐賀県立博物館
	細石刃	5	"	"	"
	搔 器	2	"	"	"

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 蔵・保 管 者
12	貝殻押圧文土器片	1	白蛇山岩陰遺跡	伊万里市東山代町脇野	佐賀県立博物館
	隆起線文土器片	1	中尾岳洞穴遺跡	西松浦郡西有田町岳	佐賀県立博物館
13	貝殻押圧文土器片	5	"	"	"
	尖頭器	5	"	"	"
14	黒曜石原石	10	西北九州各地	長崎県・佐賀県	

Ⅲ 弥生文化の解明 -米・青銅・鉄-

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 蔵・保 管 者
15	炭化米	1	上 の 原 遺 跡	熊本市健軍町	熊本市立熊本博物館
	炭化麦	1	"	"	"
16	打製石斧	2	上 の 原 遺 跡	熊本市健軍町	"
17	縄文土器(深鉢・鉢)	2	上 の 原 遺 跡	能本市健軍町	熊本市立熊本博物館
18	縄文土器(壺)	1	水 の 山 遺 跡	熊本県菊池郡大津町	熊本市立熊本博物館
19	縄文土器(壺)	1	真木前原遺跡	熊本県菊池郡大津町	熊本市立熊本博物館
20	刱圧痕付き縄文土器	2	ワ ク ド 石	熊本県菊池郡大津町	
21	刱圧痕付き縄文土器	2	長 行 遺 跡	北九州市小倉南区	北九州市教育文化事業団
22	柱状片刃石斧	3	佐 賀 貝 塚	長崎県上県郡峰町	峰町教育委員会
	扁平片刃石斧	1	"	"	"
	縄文土器(甕)	1	菜 烟 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
	"(壺)	1	"	"	"
23	"(丸底壺)	1	"	"	"
	"(壺)	1	"	"	"
	"(波状口縁浅鉢)	1	"	"	"
	"(浅鉢)	2	"	"	"
24	縄文土器(彩文壺)	1	菜 烟 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
	大陸系磨製石器	5	菜 烟 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
	抉入石斧	1	"	"	"
25	石庖丁(擦り切り孔)	1	"	"	"
	扁平片刃石斧	1	"	"	"
	磨製石劍	1	"	"	"
	磨製石鎌	1	"	"	"
	木製農具	2	菜 烟 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
26	諸手鍬	1	"	"	"
	えぶり	1	"	"	"
27	縄文土器		西 原 遺 跡	佐賀市久保泉町大字 川久保字西原	佐賀県教育委員会

No	名 称	数 量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
28	縄文土器(甕)	1	礫 石 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	佐賀県教育委員会
	" (甕)	1	"	"	"
29	縄文土器	11	丸 山 遺 跡	佐賀市久保泉町	佐賀県教育委員会
	甕	1	"	"	"
	壺	1	"	"	"
	小 壺	7	"	"	"
	高 杯	1	"	"	"
	異形土器	1	"	"	"
30	石庖丁(擦り切り孔)		西 原 遺 跡	佐賀市久保泉町	佐賀県教育委員会
31	縄文土器	4	曲 り 田 遺 跡	福岡県糸島郡二丈町	福岡県教育委員会
	把手付き甕	1	"	"	"
	丹塗磨研壺	1	"	"	"
	浅 鉢	1	"	"	"
	黒色磨研浅鉢	1	"	"	"
	磨製石器	5	曲 り 田 遺 跡	福岡県糸島郡二丈町	福岡県教育委員会
32	蛤刃石斧	1	"	"	"
	柱状片刃石斧	1	"	"	"
	扁平片刃石斧	1	"	"	"
	石庖丁	1	"	"	"
	磨製石鎌	1	"	"	"
	縄文土器	6	宇 木 汲 田 貝 塚	佐賀県唐津市宇木汲田	九州大学考古学研究室
33	波状口縁高杯	1	"	"	"
	大形鉢	1	"	"	"
	鉢・小形鉢	4	"	"	"
	石庖丁(擦り切り孔)	1	宇 木 汲 田 貝 塚	佐賀県唐津市宇木汲田	九州大学考古学研究室
34	縄文土器(甕)	2	礫 石 原 遺 跡	長崎県島原市	九州大学考古学研究室
36	縄文土器	6	原 山 遺 跡	長崎県南高来郡北有馬町	九州大学考古学研究室
	甕・鉢	2	"	"	"
	小形壺	4	"	"	"
37	石庖丁(擦り切り孔)	1	原 山 遺 跡	長崎県南高来郡北有馬町	九州大学考古学研究室
38	縄文土器(丹塗り壺)	1	板 付 遺 跡	福岡市博多区	福岡市立歴史資料館
	" (甕)	1	"	"	"
	" (脚付鉢)	1	"	"	"
	石庖丁	1	板 付 遺 跡	福岡市博多区	福岡市立歴史資料館
40	弥生土器(甕)	1	板 付 遺 跡	福岡市博多区	福岡市立歴史資料館

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
40	弥生土器(壺)	2	板付遺跡	福岡市博多区	福岡市立歴史資料館
41	炭化米		板付遺跡	福岡市博多区	福岡市立歴史資料館
42	縄文土器(甕)	2	七田前遺跡	福岡市西区	福岡市埋蔵文化財センター
	"(壺)	2	"	"	"
	"(鉢)	1	"	"	"
	"(波状口縁浅鉢)	1	"	"	"
43	磨製石器	4	七田前遺跡	福岡市西区	福岡市埋蔵文化財センター
	石庖丁	1	"	"	"
	蛤刃石斧	1	"	"	"
	柱状片刃石斧	2	"	"	"
44	木製柄(蛤刃石斧用)	1	拾六町ツイジ遺跡	福岡市西区	福岡市埋蔵文化財センター
45	木製柄(抉入石斧用)	1	比恵遺跡	福岡市博多区	福岡市埋蔵文化財センター
46	広鉄	1	比恵遺跡	福岡市博多区	福岡市埋蔵文化財センター
47	狭鉄	1	比恵遺跡	福岡市博多区	福岡市埋蔵文化財センター
48	杵	1	四箇遺跡	福岡市早良区	福岡市埋蔵文化財センター
49	弥生土器(壺)	1	藤崎遺跡	福岡市西区	九州大学考古学研究室
50	弥生土器(壺)	1	東蘿田	福岡市飯塚市	九州大学考古学研究室
51	縄文土器	5	口酒井遺跡	兵庫県伊丹市	伊丹市教育委員会
52	石庖丁	1	口酒井遺跡	兵庫県伊丹市	伊丹市教育委員会
53	長原式土器	5	長原遺跡	大阪市平野区	大阪市文化財協会
	靭圧痕のある甕	1	"	"	"
54	靭圧痕のある小形鉢	1	"	"	"
	弥生土器(壺)	3	山賀遺跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
	"(甕)	1	"	"	"
55	靭圧痕のある甕底	2	"	"	"
	石庖丁	3	山賀遺跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
56	朝鮮系無文土器(甕)	2	諸岡遺跡	福岡市博多区	福岡市立歴史資料館
57	朝鮮系無文土器(甕)	2	みくにの東遺跡	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
	"(壺)	1	"	"	"
58	朝鮮系無文土器(甕)	2	横隈鍋倉遺跡	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
59	朝鮮系無文土器(甕)	3	土生遺跡	佐賀県小城郡三日月町	佐賀県立博物館
	"(壺)	2	"	"	"
	"(高杯)	1	"	"	"
	"(鉢)	1	"	"	"
60	把手付き甕	1	德力遺跡	北九州市小倉南区	北九州市教育文化事業団

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
61	把手付き鉢	1	鬼 塚 遺 跡	大阪府東大阪市	東大阪市郷土博物館
62	トンボ玉	4	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	長崎県教育委員会
63	中国式銅劍	1	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	長崎県教育委員会
64	銅 鍔	1	神 水 遺 跡	熊本市神水町	熊本県教育委員会
65	中国式銅劍	1	中 寒 水 遺 跡	福岡県甘木市大字中寒水	甘木歴史資料館
66	連弧文「日有喜」銘鏡	1	立 岩 遺 跡	福岡県飯塚市	飯塚市歴史資料館
67	重圓「清白」銘鏡	1	立 岩 遺 跡	福岡県飯塚市	飯塚市歴史資料館
68	連弧文「清白」銘鏡	1	立 岩 遺 跡	福岡県飯塚市	飯塚市歴史資料館
69	連弧文「清白」銘鏡	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
70	連弧文「久不相見」銘鏡	1	吉 武 楠 渡 遺 跡	福岡市早良区	福岡市埋蔵文化財センター
71	方格規矩四神鏡	1	桜 馬 場 遺 跡	佐賀県唐津市	佐賀県立博物館
72	方格規矩渦文鏡	1	桜 馬 場 遺 跡	佐賀県唐津市	佐賀県立博物館
73	昭明鏡	1	三 津 永 田 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	
74	四蛇鏡	1	三 津 永 田 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	
75	方格規矩鏡	1	横 田 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県立博物館
76	方格規矩鏡	1	杵 島 山 遺 跡	佐賀県杵島郡北方町	佐賀県立博物館
77	昭明鏡	1	杵 島 山 遺 跡	佐賀県杵島郡北方町	佐賀県立博物館
78	獸帶鏡	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
79	連弧文「長宜子孫」銘鏡	1	一 本 谷 遺 跡	佐賀県三養基郡上峰村	佐賀県立博物館
80	銀製指輪	3	惣 座 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	大和町教育委員会
81	五銖錢	1	守 恒 遺 跡	北九州市小倉南区	北九州市教育文化事業団
82	無文土器系甕形土器	1	沖 ノ 山 遺 跡	山口県宇部市	渡辺翁記念文化協会
83	半両錢	2	沖 ノ 山 遺 跡	山口県宇部市	渡辺翁記念文化協会
	五銖錢	10	"		"
84	半両錢	1	御 床 松 原 遺 跡	福岡県糸島郡志摩町	志摩町教育委員会
	貨 泉	2	"		"
85	貨 布	1	仲 島 遺 跡	福岡県大野城市	大野城市教育委員会
86	貨 布	1	護 国 神 社 社 殿 前 方	長崎市城栄町	
87	貨 泉	1	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	九州大学考古学研究室
88	貨 泉	1	外 園 遺 跡	熊本県菊池市長田	
89	貨 泉(複 製)	1	幽 石 浜 遺 跡	京都府熊野郡久美浜町	北九州市立考古博物館
90	貨 泉(拓 本)	1	瓜 破 遺 跡	大阪市東住吉区瓜破町	大阪市立博物館
91	蓋台付碗形土器	1	瓜 破 遺 跡	大阪市東住吉区瓜破町	大阪市立博物館
92	鉢形土器	1	瓜 破 遺 跡	大阪市東住吉区瓜破町	大阪市立博物館
93	貨 泉	2	亀 井 遺 跡	大阪府八尾市亀井町	大阪文化財センター

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
1	貨 泉	1	巨 摩 廃 寺 遺 蹤	大阪府東大阪市若江西新町	大阪文化財センター
94	半両錢	3	(中 国 内)		九州大学考古学研究室
95	貨 泉	2	(中 国 内)		九州大学考古学研究室
96	布 泉	1	(中 国 内)		九州大学考古学研究室
97	大泉五十	4	(中 国 内)		九州大学考古学研究室
98	五銖錢	2	(中 国 内)		九州大学考古学研究室
99	細形銅劍	1	比 恵 遺 蹤	福岡市博多区	福岡市歴史資料館
100	細形銅劍先	1	東 山 田 一 本 杉 遺 蹤	佐賀県佐賀郡大和町	佐賀県教育委員会
101	細形銅劍	1	吉 武 横 渡 遺 蹤	福岡市早良区	福岡市立歴史資料館
	把頭飾	1	"	"	"
102	細形銅劍	1	宇 木 浸 田 遺 蹤	佐賀県唐津市	九州大学考古学研究室
103	細形銅矛	1	板 付 田 端 遺 蹤	福岡市博多区	東京国立博物館
104	細形銅矛	1	徳 須 恵 遺 蹤	佐賀県東松浦郡北波多村	北波多村教育委員会
105	細形銅矛	1 (4片)	宇木浸田甕棺遺跡	佐賀県唐津市	九州大学考古学研究室
106	細形銅戈	1	北 尾 遺 蹤	佐賀県三養基郡北茂安町	北茂安町教育委員会
107	細形銅戈	1	東 尾 遺 蹤	佐賀県三養基郡北茂安町	北茂安町教育委員会
108	多 鈎 細 文 鏡	1	(旧) 吐田郷・名柄	奈良県御所市名柄字田中	東京国立博物館
109	銅 剣	1	立 石	長崎県諫早市立石町	長崎県立美術博物館
110	中 細 形 銅 剣	1	伝・大 分 県 内		九 州 歷 史 資 料 館
111	中 細 形 銅 剣	1	(旧) 波 介	高知県須崎市下分甲1121	東京国立博物館
112	中 細 形 銅 矛	1	立 岩 遺 蹤	福岡県飯塚市	飯塚市立歴史資料館
113	中 細 形 銅 矛	2	景 華 團	長崎県島原市三会	長崎県立美術博物館
114	中 細 形 銅 戈	2	伝・牛の尾神社	佐賀県小城郡小城町	牛 の 尾 神 社
115	中 広 形 銅 剣	1	岡 垣	福岡県遠賀郡	九州大学考古学研究室
116	中 広 形 銅 矛	10	検 見 谷 遺 蹤	佐賀県三養基郡北茂安町	文 化 厅
117	中 広 形 銅 矛	3	桜 馬 場 遺 蹤	佐賀県神埼郡三田川町	三 田 川 教 育 委 員 会
	"	1	"	"	"
118	人面付銅戈	1	伝・福 岡 県 内		福岡市立歴史資料館
119	中 広 形 銅 戈	2	小 倉 新 池	福岡県春日市	春 日 市 教 育 委 員 会
120	広 形 銅 矛	1	唐 泊	福岡市西区	九州大学考古学研究室
121	広 形 銅 矛	1	阿 連	長崎県下県郡嚴原町	長崎県立美術博物館
122	広 形 銅 矛 破 片	1	辻 田 遺 蹤	福岡県春日市	九 州 歷 史 資 料 館
123	平 形 銅 剣	1	羽 方 西 / 谷	香川県三豊郡高瀬町	東 京 国 立 博 物 館
124	平 形 銅 剣	1	(旧) 一 万 ・ 市 筋	愛媛県松山市道後今市北 1053	東 京 国 立 博 物 館
125	桜ヶ丘 7 号銅 戈	1	桜ヶ丘 町 神 岡	兵庫県神戸市灘区	神 戸 市 立 博 物 館

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 �藏・保 管 者
126	大阪湾型銅戈	1	瓜 生 堂 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
127	銅戈	1	瓜 生 堂 遺 跡	大阪府東大阪市	東大阪市立郷土博物館
参 考	細形銅戈	2	吉 武 高 木 遺 跡	福岡市早良区	福岡市埋蔵文化財センター
	細形銅戈	1	"	"	"
	細形銅戈	1	"	"	"
	多紐細文鏡	1	"	"	"
128	細形銅劍・銅矛鋳型	1	惣 座 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	大和町教育委員会
129	中細形銅矛鋳型	1	姉 遺 跡	佐賀県神埼郡千代田町	千代田町教育委員会
130	中細形銅劍鋳型	1	姉 遺 跡	佐賀県神埼郡千代田町	千代田町教育委員会
131	弥生土器(壺)	1	姉 遺 跡	佐賀県神埼郡千代田町	千代田町教育委員会
132	細形銅劍鋳型(複製)	1	勝 馬 遺 跡	福岡市東区(志賀島)	九州大学考古学研究室
133	銅劍鋳造実験品	1式	(原品 勝馬の鋳型)		九州大学考古学研究室
134	細形銅劍鋳型	2	大 谷 遺 跡	福岡県春日市	春日市教育委員会
135	中細形銅矛鋳型	1	大 谷 遺 跡	福岡県春日市	春日市教育委員会
136	銅戈鋳型	1	大 谷 遺 跡	福岡県春日市	春日市教育委員会
137	中細形銅戈鋳型(複製)	1	石 動 遺 跡	佐賀郡神埼郡東脊振村	北九州市立考古博物館
138	中細形銅戈鋳型	1	永 岡 遺 跡	福岡県筑紫野市	筑紫野市歴史民俗資料館
139	銅戈鋳型	1	久 保 長 崎 遺 跡	福岡市粕屋郡古賀町	福岡県教育委員会
140	中広形銅戈鋳型	1	八 田	福岡市東区	福岡市立歴史資料館
141	中広形銅劍鋳型	1式 (2点)	八 田	福岡市東区	福岡市立歴史資料館
142	銅戈鋳型	1	安 永 田 遺 跡	佐賀県鳥栖市袖比町	鳥栖市教育委員会
143	銅矛鋳型	1式 (3点)	安 永 田 遺 跡	佐賀県鳥栖市袖比町	鳥栖市教育委員会
144	中広形銅矛鋳型	1	安 永 田 遺 跡	佐賀県鳥栖市袖比町	鳥栖市教育委員会
145	中広形銅戈鋳型(複製)	1	吉 木	福岡県遠賀郡岡垣町	福岡市立歴史資料館
146	中広形銅矛鋳型(複製)	1	須 玖 岡 本	福岡県春日市	福岡市立歴史資料館
147	広形銅戈鋳型	1	多 田 羅	福岡市東区	九州歴史資料館
149	銅劍鋳型	1	田 能 遺 跡	兵庫県尼崎市	尼崎市立田能資料館
150	銅戈鋳型	3	東 奈 良 遺 跡	大阪府茨木市	茨木市立文化財資料館
151	銅戈鋳型	1	瓜 生 堂 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
152	銅鍔鋳型	1	鬼 虎 川 遺 跡	大阪府東大阪市	東大阪市立郷土博物館
153	朝鮮式小銅鐸	1	入 室 里 遺 跡	韓国慶尚北道月城郡	辰馬考古資料館
154	朝鮮式小銅鐸(複製)	1	別 府 遺 跡	大分県宇佐市別府	北九州市立考古博物館
	同上復原品	1			"
155	銅舌	1	宇 木 汲 田 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
156	横帯文銅鐸(複製)	1	中 川 原 町 清 水	兵庫県洲本市中川原町	辰馬考古資料館

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
157	横帯文銅鐸	1	出 土 地 不 詳		辰 馬 考 古 資 料 館
158	横帯文銅鐸	1	伝・鳥 取 県 内		辰 馬 考 古 資 料 館
159	流水文銅鐸(3号)	1	氣 比	兵 庫 県 豊 岡 市 気 比	東 京 国 立 博 物 館
160	流水文銅鐸(複製)	1	我 拝 師 山	香 川 県 普 通 寺 市 吉 原 町	茨 木 市 立 文 化 財 資 料 館
161	流水文銅鐸	1	名 柄	奈 良 県 御 所 市 名 柄	東 京 国 立 博 物 館
162	袈裟襷文銅鐸	1	渦 森	兵 庫 県 神 戸 市 東灘 区 住 吉 町	東 京 国 立 博 物 館
163	袈裟襷文銅鐸(4号)	1	桜 ケ 丘 町 神 岡	兵 庫 県 神 戸 市 糜 区 桜 ケ 丘 町	神 戸 市 立 博 物 館
164	袈裟襷文銅鐸(1号)	1	小 坂 井 町 伊 奈	愛 知 県 宝 飯 郡 小 坂 井 町	東 京 国 立 博 物 館
165	銅 鐸 ヒ レ 片	1	亀 井 遺 跡	大 阪 府 八 尾 市	大 阪 文 化 財 セン タ ー
166	邪 視 文 土 器	1	亀 井 遺 跡	大 阪 府 八 尾 市	大 阪 文 化 財 セン タ ー
167	鐸 鑄 型	1	岡 本 四 丁 目 遺 跡	福 岡 県 春 日 市 岡 本 四 丁 目	春 日 市 教 育 委 員 会
168	鐸 鑄 型	1	大 谷 遺 跡	福 岡 県 春 日 市 大 字 小 倉	春 日 市 教 育 委 員 会
169	銅 鐸 鑄 型	5	安 永 田 遺 跡	佐 賀 県 鳥 栖 市 柚 比 町	鳥 栖 市 教 育 委 員 会
170	銅 鐸 鑄 型	1	赤 穂 浦 遺 跡	福 岡 市 博 多 区	福 岡 市 立 歴 史 資 料 館
171	銅 鐸 鑄 型	1	鶴 冠 井 遺 跡	京 都 府 向 日 市 鶴 冠 井 町	向 日 市 教 育 委 員 会
172	銅 鐸 鑄 型	1	鬼 虎 川 遺 跡	大 阪 府 東 大 阪 市	東 大 阪 市 鄉 土 博 物 館
173	銅 鐸 鑄 型(複製)	1	名 古 山	兵 庫 県 姫 路 市 名 古 山	神 戸 市 立 博 物 館
174	銅 鐸 鑄 型	1	丁 田 遺 跡	兵 庫 県 姫 路 市 今 宿	神 戸 市 立 博 物 館
175	銅 鐸 鑄 型(1号)	1	東 奈 良 遺 跡	大 阪 府 茨 木 市 東 奈 良	文 化 厅
	" (2号)	1	"	"	"
	" (3号)	1	"	"	"
	ふいご羽口	2	"	"	"
176	銅 鐸 鑄 型(複製)	1	上 高 野	兵 庫 県 赤 穂 市 上 高 野	神 戸 市 立 博 物 館
177	銅 鐸 鑄 型	1	唐 古 ・ 鍵 遺 跡	奈 良 県 磯 城 郡 田 原 本 町	田 原 本 町 教 育 委 員 会 (櫛 原 考 古 学 研 究 所 付 属 博 物 館)
178	銅 鐸 土 製 鑄 型	1	唐 古 ・ 鍵 遺 跡	奈 良 県 磯 城 郡 田 原 本 町	田 原 本 町 教 育 委 員 会 (櫛 原 考 古 学 研 究 所 付 属 博 物 館)
	ふいご羽口	1	"	"	"
179	熱 变 形 を う け た 土 器	1	美 園 遺 跡	大 阪 府 八 尾 市	大 阪 文 化 財 セン タ ー
180	鐸 形 銅 製 品	1式	浦 志 遺 跡(A 地 点)	福 岡 県 系 島 郡 前 原 町	前 原 町 教 育 委 員 会
参考	鐸 形 銅 製 品	1	多 武 尾 遺 跡	大 分 県 大 分 市 大 字 橫 尾 下 組	大 分 市 教 育 委 員 会
181	鐸 形 銅 製 品	1	五 郎 江 遺 跡	福 岡 市 西 区 今 宿	福 岡 市 埋 藏 文 化 財 セン タ ー
182	銅 鐸 形 銅 製 品	1	大 南 遺 跡	福 岡 県 春 日 市 大 字 小 倉	九 州 大 学 考 古 学 研 究 室
183	鐸 形 土 製 品	1	詫 田 西 分	佐 賀 県 神 埼 郡 千 代 田 町	千 代 田 町 教 育 委 員 会
184	鐸 形 土 製 品	2	本 分	佐 賀 県 三 義 基 郡 三 根 町	佐 賀 県 教 育 委 員 会
185	鐸 形 土 製 品	2	川 寄 若 宮	佐 賀 県 神 埼 郡 神 埼 町	佐 賀 県 教 育 委 員 会
186	鐸 形 土 製 品	1	川 寄 吉 原	佐 賀 県 神 埼 郡 神 埼 町	佐 賀 県 教 育 委 員 会

No	名 称	数 量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
187	鐸形土製品	1	利 田 柳	佐賀県神埼郡神埼町	佐賀県教育委員会
188	鐸形土製品	2	的 五 本 黒 木	佐賀県神埼郡神埼町	神埼町教育委員会
189	鐸形土製品 舌形土製品	1 1	琴 の 宮 “	福岡県朝倉郡夜須町	夜須町教育委員会 “
190	銅鐸形土製品	4	亀 井 遺 跡	大阪府八尾市	大阪文化財センター
191	銅鐸形土製品	1	瓜 生 堂 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
192	銅鐸形土製品	1	鬼 虎 川 遺 跡	大阪府東大阪市	東大阪市立郷土博物館
193	銅鐸形土製品	1	芝 遺 跡	奈良県桜井市	桜井市教育委員会
194	銅鐸形土製品	1	上 箕 田 遺 跡	三重県鈴鹿市上箕田町	文 化 庁
参 考	銅鐸形土製品		唐 古 ・ 鍵 遺 跡	奈良県磯城郡原本町	原本町教育委員会
	“		大 福 遺 跡	奈良県桜井市	桜井市教育委員会
195	銅 鋸	4	宇 木 浪 田 遺 跡	佐賀県唐津市	九州大学考古学研究室
196	有鉤銅鋸	26	桜 馬 場 遺 跡	佐賀県唐津市	佐賀県立博物館
197	有鉤銅鋸	1	茂 手 遺 跡	佐賀県武雄市	武雄市教育委員会
198	有鉤銅鋸	3	原 ノ 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	長崎県教育委員会
199	有鉤銅鋸	1	巨 摩 廃 寺 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
200	銅 鋸	1	田 能 遺 跡	兵庫県尼崎市	尼崎市立田能資料館
201	銅 鋸	8	千 々 賀 遺 跡	佐賀県唐津市	大阪市立博物館
202	銅鋸鋳型(複製)	1	多 田 羅	福岡市東区	九州大学考古学研究室
203	多田羅鋳型の推定製品	2	多 田 羅	福岡市東区	九州大学考古学研究室
204	銅鋸鋳型	1	鬼 虎 川 遺 跡	大阪府東大阪市	東大阪市立郷土博物館
205	巴形銅器	3	桜 馬 場 遺 跡	佐賀県唐津市	佐賀県立博物館
206	巴形銅器	1	東 宮 裾 遺 跡	佐賀県杵島郡北方町	佐賀県立博物館
207	星形銅器	2	東 宮 裾 遺 跡	佐賀県杵島郡北方町	佐賀県立博物館
208	巴形銅器	1	方 保 田 東 原 遺 跡	熊本県山鹿市	山鹿市立博物館
209	鉢形銅器	3	布 施 ケ 里 遺 跡	佐賀県小城郡小城町	小城町教育委員会
210	小形仿製鏡	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
211	小形仿製鏡	1	天 神	佐賀県三養基郡中原町	佐賀県教育委員会
212	小形仿製鏡	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
213	小形仿製鏡	1	五 本 谷 遺 跡	佐賀県三養基郡上峰村	佐賀県教育委員会
214	小形仿製鏡	1	五 本 谷 遺 跡	佐賀県三養基郡上峰村	佐賀県教育委員会
215	小形仿製鏡	1	亀 井 遺 跡	大阪府八尾市亀井町	大阪文化財センター
216	銅鋸先	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
217	銅鋸先	3	千 塔 山 遺 跡	佐賀県三養基郡基山町	基山町教育委員会
218	銅 鏃	1	今 川 遺 跡	福岡県宗像郡津屋崎町	津屋崎町教育委員会

No	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
219	銅 鏃	1	御 床 松 原 遺 跡	福岡県糸島郡志摩町	志摩町教育委員会
220	銅 鏃	1	川 寄 吉 原 遺 跡	佐賀県神埼郡神埼町	佐賀県教育委員会
221	銅 鏃	1	三 津 永 田 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	
222	銅 鏃	1	詫 田 貝 琥	佐賀県神埼郡千代田町	
223	銅 鏃	4	今 福 遺 跡	長崎県南高来郡北有馬町	長崎県教育委員会
224	銅 鏃	2	方 保 田 東 原 遺 跡	熊本県山鹿市	山鹿市立博物館
225	銅 鏃	4	亀 井 遺 跡	大阪府八尾市亀井町	大阪文化財センター
226	銅 鏃	1	巨 摩 廃 寺 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
	ガラス製小玉	5	東 山 一 本 杉 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	佐賀県教育委員会
227	ガラス製小玉	5連	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
228	ガラス製小玉	1連	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
229	ガラス製小玉	1	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	長崎県教育委員会
230	ガラス製勾玉	1	須 玖 岡 本 遺 跡	福岡県春日市	九州大学考古学研究室
231	勾玉鋳型	1	弥 永 原 遺 跡	福岡県春日市	九州大学考古学研究室
232	勾玉鋳型	1	赤 井 手 遺 跡	福岡県春日市	春日市教育委員会
233	ガラス製小玉	3連	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	長崎県教育委員会
234	碧玉製勾玉・管玉	1連	杵 島 山 遺 跡	佐賀県杵島郡北方町	佐賀県立博物館
235	ガラス製小玉	1連	惣 座 遺 跡	佐賀県佐賀郡大和町	大和町教育委員会
236	碧玉製管玉	3連	田 能 遺 跡	兵庫県尼崎市	尼崎市立田能資料館
237	鉄 斧	1	長 行 遺 跡	北九州市小倉南区	北九州市教育文化事業団
238	鉄 斧 (複製)	1	斎 藤 山 遺 跡	熊本県玉名郡天水町尾田	熊本市立熊本博物館
239	鉄斧・鉈・鏃	5	吉 ケ 浦 遺 跡	福岡県太宰府市	福岡県教育委員会
240	鉄 斧	1	古 大 間 遺 跡	福岡県粕屋郡粕屋町	粕屋町教育委員会
	板状鉄斧	1	"	"	"
241	鋳造鉄斧	3	下 稗 田 遺 跡	福岡県行橋市	行橋市教育委員会
	板状鉄斧	3	"	"	"
242	板状鉄斧	1	干 鴻 遺 跡	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
	鉄 斧	1	御 床 松 原 遺 跡	福岡県糸島郡志摩町	志摩町教育委員会
243	板状鉄斧	2	"	"	"
	鋳造鉄斧	1	"	"	"
244	鋳造鉄斧	1	琴 の 宮 遺 跡	福岡県朝倉郡夜須町	夜須町教育委員会
245	不定形鉄器	4	焼 ノ 正 遺 跡	福岡県飯塚市焼ノ正	飯塚市歴史資料館
246	鉈	1	小 瀬 隈 遺 跡	福岡県嘉穂郡筑穂町	飯塚市歴史資料館
247	鉄製アワビオコシ	1	菜 烟 遺 跡	佐賀県唐津市	唐津市教育委員会
248	鉄器類	10	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	九州大学考古学研究室

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
249	鉈 2・鉄鎌 3	5	原 の 辻 遺 跡	長崎県壱岐郡石田町	長崎県教育委員会
250	板状鉄斧	2	神 ノ 崎 遺 跡	長崎県北松浦郡小值賀町黒島	小值賀町教育委員会
251	鉄 斧	2	千 塔 山 遺 跡	佐賀県三養基郡基山町	基山町教育委員会
	鉄ノミ	1	"	"	"
	鉄鋤先	2	"	"	"
	鉄 鎌	2	"	"	"
252	板状鉄斧	1	城 ノ 上 遺 跡	佐賀県三養基郡基山町	基山町教育委員会
	鉄 鎌	2	"	"	"
253	鉄 鎌	1	大 板 井 遺 跡	福岡県小郡市大板井	小郡市教育委員会
254	鉄 鎌	1	三 沢 栗 原 遺 跡	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
	石庖丁	2	"	"	"
255	石庖丁形鉄器	1	方 保 田 東 原 遺 跡	熊本県山鹿市方保田	山鹿市教育委員会
256	石庖丁	2	方 保 田 東 原 遺 跡	熊本県山鹿市方保田	山鹿市教育委員会
	石庖丁未成品	2	"	"	"
257	鉄 鎌	1	西 の 角 遺 跡	長崎県南高来郡森山町	長崎県教育委員会
	石庖丁	1	"	"	"
258	手 鎌(鉄製穂摘み具)	1	赤 井 手 遺 跡	福岡県春日市赤井手	春日市教育委員会
259	ノミ状鉄器	1	鬼 虎 川 遺 跡	大阪府東大阪市弥生町	東大阪市郷土博物館
	鉄 鎌	1	"	"	"
260	鑄造鉄斧	1	馬 場 山 遺 跡	北九州市八幡西区大字馬場山	北九州市教育文化事業団
	鉄 斧	1	"	"	"
261	鉄 斧	1	高 島 遺 跡	北九州市小倉南区	北九州市立考古博物館
262	鉄 戈	1	富 地 原 梅 木 遺 跡	福岡県宗像市	宗像市教育委員会
	鉄 鎌	1	"	"	"
263	有 槌 式 鉄 戈	1	門 田 遺 跡	福岡県春日市	九州歴史資料館
264	鉄 戈	1	立 岩 遺 跡	福岡県飯塚市立岩	飯塚市歴史資料館
	鉄 剣	1	"	"	"
265	鉄 矛	1	立 岩 遺 跡	福岡県飯塚市立岩	飯塚市歴史資料館
	鉈	1	"	"	"
266	鉄 刀 子	1	"	"	"
	鉄 戈	1	道 場 山 遺 跡	福岡県筑紫野市	九州歴史資料館
267	鉄 戈	1	七 板 遺 跡	福岡県朝倉郡夜須町	夜須町教育委員会
	(2片) 銅劍形鉄劍	1	久 保 田 遺 跡	佐賀県三養基郡基山町	佐賀県立博物館
268	鉄 剣	1	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
269	素環頭刀	2	二 塚 山 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
	鉄 矛	1	"	"	"
270	鉄 剣	1	横 田 遺 跡	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県立博物館
	素環頭刀	1	"	"	"
271	鉄 戈	3	富 の 原 遺 跡	長崎県大村市	大村市教育委員会
	鉄 剣	1	"	"	"
272	鉄 錐		小 笹 遺 跡	福岡市中央区	福岡市立歴史資料館
273	鉄	1	久原龍ヶ下遺跡	福岡県宗像市	宗像市教育委員会
274	二重口縁壺	1	久原龍ヶ下遺跡	福岡県宗像市	宗像市教育委員会
275	鉄	2	花 肢 2 号 墳	福岡県小郡市	
276	板状鉄斧	1	西 一 本 杉 古 墳	佐賀県神埼郡東脊振村	佐賀県教育委員会
277	鉗	1	東 十 郎 古 墳 群	佐賀県鳥栖市	佐賀県立博物館
278	鉄槌・あてびし	1	東 十 郎 古 墳 群	佐賀県鳥栖市	佐賀県立博物館

IV 古墳文化の新資料 -石盾・須恵器-

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
279	壺形埴輪	1	桜井茶臼山古墳	奈良県桜井町	橿原考古学研究所附属博物館
280	二重口縁壺	1	三国の鼻 1 号 墳	福岡県小郡市	小郡市教育委員会
281	鞍形埴輪	1		群馬県伊勢崎市豊城町権現下	東京国立博物館
282	草摺付短甲埴輪	1	東 車 塚 南 古 墳	大阪府交野市	大阪府立泉北考古資料館
283	甲冑形埴輪	1	蕃 上 山 古 墳	大阪府藤井寺市	大阪府立泉北考古資料館
284	蓋形埴輪	1	蕃 上 山 古 墳	大阪府藤井寺市	大阪府立泉北考古資料館
285	円筒埴輪	2	蕃 上 山 古 墳	大阪府藤井寺市	大阪府立泉北考古資料館
286	家形埴輪	1	美 園 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
287	腰掛形埴輪	1	巨 摧 廃 寺 遺 跡	大阪府東大阪市	大阪文化財センター
288	朝顔形鋸付円筒埴輪	1	鋤 崎 古 墳	福岡市西区	福岡市埋蔵文化財センター
289	朝顔形円筒埴輪	1	江 田 船 山 古 墳	熊本県玉名郡菊水町江田	菊水町教育委員会
290	円筒埴輪	1	江 田 船 山 古 墳	熊本県玉名郡菊水町江田	"
291	人物埴輪	1	岡 寺 古 墳	佐賀県鳥栖市	鳥栖市教育委員会
292	円筒埴輪	2	岡 寺 古 墳	佐賀県鳥栖市	佐賀県立博物館
293	人物埴輪	1	八 雷 古 墳	福岡県行橋市	行橋市教育委員会
294	舟形石棺	1	熊 本 山 古 墳	佐賀市久保泉町	佐賀市教育委員会
295	舟形石棺	1	丸 山 古 墳	佐賀市久保泉町	佐賀県教育委員会
296	家形石棺片	2	西 原 古 墳	佐賀市久保泉町	
	"	1	"	"	佐賀県立博物館

No.	名 称	数量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
297	盾形石製品	1	西 原 古 墳	佐賀市久保泉町	佐賀市教育委員会
299	扁平石人	1	岩 戸 山 古 墳	福岡県八女市大字吉田	八女市教育委員会
300	石 人(頭部)	1	伝・岩戸山古墳	福岡県八女市大字吉田	八女市教育委員会
301	石 人(頭部)	1	岩 戸 山 古 墳	福岡県八女市大字吉田	八女市教育委員会
302	盾形石製品	1	岩 戸 山 古 墳	福岡県八女市大字吉田	八女市教育委員会
303	蓋形石製品	1	岩 戸 山 古 墳	福岡県八女市大字吉田	八女市教育委員会
304	武装石人	1	船 山 古 墳 群	熊本県玉名郡菊水町江田	菊水町教育委員会
305	盾形石製品	3	姫ノ城古墳	熊本県八代郡竜北町	竜北町教育委員会
306	蓋形石製品	1式	姫ノ城古墳	熊本県八代郡竜北町	竜北町教育委員会
	蓋形石製品	1	"	"	"
307	蓋形石製品	1式	姫ノ城古墳(推定)	熊本県八代郡竜北町	熊本市立熊本博物館
308	陶質土器(有蓋高杯)	1式 (2点)	池ノ上遺跡	福岡県甘木市	甘木歴史資料館
	"(器台)	1	"	"	"
311	"(広口壺)	1	"	"	"
	須恵器(器台)	1	奴山5号古墳	福岡県宗像郡津屋崎町	津屋崎町教育委員会
310	須恵器(蓋・坏)	1式 (2点)	江田船山古墳	熊本県玉名郡菊水町	東京国立博物館
311	須恵器(蓋・坏)	10	陶邑古窯跡群	大阪府堺市	大阪府立泉北考古資料館
	"(魁)	1	"	"	"
312	"(こしき)	1	"	"	"
	須恵器(こしき)		陶邑深田遺跡	大阪府堺市	大阪府立泉北考古資料館
313	"(甕)		"	"	"
	須恵器(器台)	1	龟井遺跡	大阪府八尾市	大阪文化財センター
314	"(樽形魁)	1	"	"	"
	百済系土器三足坏	1	野田遺跡	佐賀県神埼郡神埼町	佐賀県教育委員会
315	伽耶系土器(蓋)	1	コフノ隊遺跡	長崎県上県郡上対馬町	上対馬町教育委員会
	"(把手付台付壺)	1	"	"	"
316	"(高坏)	1	"	"	"
	新羅系土器(高坏)	1	"	"	"
317	(長頸壺)	1	"	"	"
	須恵器(魁・甕)	2	鈴熊ST001古墳	佐賀市久保泉町	佐賀県教育委員会
318	"(甕)	1	鈴熊ST002古墳	"	"
	"(広口壺)	1	東尾大塚古墳	佐賀県三養基郡北茂安町	佐賀県立博物館
317	新羅土器(壺)	1	相原2号古墳	福岡県宗像市	宗像市教育委員会
318	琴柱形石製品	2	七夕池古墳	福岡県柏屋郡志免町	志免町教育委員会
319	琴柱形石製品	2	花見2号古墳	福岡県柏屋郡古賀町	古賀町教育委員会

No	名 称	数 量	出 土 遺 跡	所 在 地	所 藏・保 管 者
320	琴柱形石製品	3	丸 山 3 号 古 墳	佐賀市久保泉町	佐賀県教育委員会
322	金製垂飾付耳飾	1対 (2個)	玉 島 古 墳	佐賀県東松浦郡浜玉町	東京国立博物館
323	金製垂飾付耳飾	1	天 神 の 森 古 墳	福岡市博多区下月隈	福岡市埋蔵文化財センター
324	金製垂飾付耳飾	1対 (2個)	長 畑 古 墳	福岡県田川郡香春町	香春町教育委員会
325	金製垂飾付耳飾	1	伝・日拝塚古墳	福岡県春日市	春日市教育委員会
326	金製垂飾付耳飾	1	伝 左 山 古 墳	熊本県玉名郡繁根木字北	文 化 序
327	蛇行状鉄劍	1	船石遺跡(1号墳)	佐賀県三養基郡上峰村	佐賀県教育委員会
	蛇行状鉄矛	1	船石遺跡(2号墳)	"	佐賀県教育委員会
328	蛇行状鉄劍	1	竹 並 横 穴 群	福岡県行橋市	行橋市教育委員会
329	蛇行状鉄器	1	大 井 三 倉 5 号 墳	福岡県宗像市	宗像市教育委員会
330	三葉環柄	1	久 戸 9 号 墳	福岡県宗像市	宗像市教育委員会
331	方格規矩四神鏡	1	寄 居 古 墳	佐賀県小城郡小城町	佐賀県教育委員会
	鉄 剣	1	"	"	"

#### その他の企画展(博物館)

展覧会名称	主 催	会期
第35回 佐賀県児童生徒理科作品展	佐賀県理科教育振興会、佐賀県立博物館	9/13 ~ 9/20
第5回 よみがえれ佐賀展	佐賀市、佐賀市教育委員会、佐賀青年会議所、佐賀県機械金属工業会連合会、佐賀新聞社	9/28 ~ 10/6
第35回 佐賀県美術展	佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県立美術館、佐賀県立博物館	11/1 ~ 11/10
第9回佐賀県高等学校芸術祭 美術・書道展	佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校教育研究会芸術部会、佐賀県高等学校美術連盟、佐賀県高等学校書道教育研究会、	11/16 ~ 11/24

会 場	展 示 概 要
博物館 3 号	小・中・高等学校の生徒による理科作品約 150 点を展示
博物館 3 号	郷土の輝かしい歴史と先達の偉業を21世紀につなげようという主旨で、佐賀城の復元模型や幕末から近代にかけての多くの歴史的資料を展示。
博物館 2, 3 号	日本画、洋画、彫塑、工芸、書、写真、デザインの各部門で県内から一般公募を行い入選作に審査員及び物故者の作品を加え 449 点を展示。
博物館 2, 3 号	本県高等学校美術教育の振興と高校生の芸術文化活動の交流及びその向上をはかるもので、絵画・書等約 300 点を展示。

昭和 60 年度 博物館観覧状況調

常 設 展

	個 人			団 体			観 覧
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	
佐賀県の歴史と文化展	(2,069) 6,063	(99) 396	(276) 1,409	(507) 787	152	(22) 33	533
〃	1,292	120	317	77		64	144
小 計 (1)	7,355	516	1,726	864	152	97	677

※ ( ) 内は常設特別展「蒼海・梧竹展」

企 画 展

	個 人			団 体			観 覧
	大 人	大・高	中・小	大 人	大・高	中・小	
佐賀県児童生徒理科作品展	1,601	181	1,154			819	
第5回よみがえれ佐賀展	4,735	8	1,654	16	288	3,558	
古代史発掘展	2,400	201	367	275	734	729	
小 計 (2)	8,736	390	3,175	291	1,022	5,106	
合 計 (1) + (2)	16,091	906	4,901	1,155	1,174	5,203	677

料 免 除		招 待 者	優 待 者	合 計	開館日数	一日平均	期 間
大・高	中・小						
707	6,194	55	(307) 389	(3,280) 16,718	(11) 174	(298) 96	(8/21~ 9/1) 4/1~10/20
41	833		66	2,954	82	36	12/5~ 3/31
748	7,027	55	455	19,672	256	77	

料 免 除		招 待 者	優 待 者	合 計	開館日数	一日平均	期 間
大・高	中・小						
				3,755	7	536	9/13~ 9/20
				10,259	8	1,282	9/28~10/ 6
		759	173	5,638	20	282	2/8~ 3/ 2
		759	173	19,652	35	561	
748	7,027	814	628	39,324	291	135	

#### 4. 普及活動

##### (1) 資料の刊行

◇博物館報 発行回数4回、合計32頁、各号1,000部印刷（但し、№72号は1,500部印刷）、B5版、アート紙使用、配布先は県内教育機関、社会教育団体及び主な博物館等で、館の資料紹介ならびに利用促進資料として活用している。内容は次のとおりである。

№69 昭和60年5月11日発行 8頁

- 裏表の広告
- 近代洋画名作展開催要項及び作品目録
- 肥前の中世美術展講演会
- 行事のお知らせ・人事異動

№70 昭和60年8月1日発行 8頁

- 二行書 副島蒼海
- 「蒼海・梧竹」案内
- 資料紹介 一京都風景図巻（古川松根筆）
- 研究ノート 一久米桂一郎の風景画について
- 行事のお知らせ

№71 昭和60年12月1日発行 8頁

- 朝鮮系無文土器（壺）
- 資料紹介（歴史）一久家家文書による波多三河守一
- 資料紹介（工芸）一丸田正美と塩釉黒釉流し文盛器一
- 資料調査ノート（民俗）一船大工一

№72 昭和61年2月8日発行 8頁

- 国宝 桜ヶ丘第4号銅鐸（A面部分）
- 昭和60年度特別企画「古代史発掘展」開催要項
- 展示の構成
- 行事のお知らせ

##### ◇年報

昭和59年度佐賀県立博物館・佐賀県立美術館年報№15を刊行し、昭和59年度の管理概要、事業概

況、資料概況、茶室の管理と運営の概況等を掲載し、各方面に配布、印刷部数800部、形態B5版、アート紙、62頁。

##### ◇図録

##### 「蒼海・梧竹」展図録

美術館特別常設展「蒼海・梧竹」展に伴い刊行されたもので、カラー21頁に作品71点、白黒75頁に作品92点、論考、目録、等総計131頁で構成。

##### 「古代史発掘」展図録

博物館特別企画展「古代史発掘」展に伴い刊行されたもので、カラー8頁に作品14点、白黒160頁に作品331点、論考、目録、等総計199頁で構成。

##### (2) 研究講座

当館学芸員が実施した講座開催状況は次の通りである。

年月日	演題	氏名	聴講者数
60.5.14	近代洋画名作展	松本誠一	61
60.7.30	郷土史	小宮睦之	64
60.10.1	日本芸術院美術展	松本誠一	62

#### 5. 資料調査

博物館特別企画展「古代史発掘－新出土品による九州の古代文化」展の実施に伴い、九州内では福岡県・長崎県・熊本県・佐賀県の北部4県、山口県、近畿地方では京都府・大阪府・奈良県・兵庫県の合計9府県内の教育委員会・博物館・文化財センター等が所蔵する埋蔵文化財の調査を行ない、あわせて文化庁・東京国立博物館の所蔵品についても出陳を依頼した。

資料調査先・所在地・主要な資料名については下表のとおりである。調査に協力を賜った機関ならびに各位に御礼申し上げます。

調査先 (所在地)	主要な資料名（遺跡名）
福岡県教育委員会 (福岡市博多区東公園7-7)	縄文土器・磨製石器（曲り田）、鉄斧・鉄鎌・鉈（吉ヶ浦）など15点
福岡県立九州歴史資料館 (太宰府市大字太宰府1025)	銅戈鋌型（久保長崎・多田羅）、有柄式鉄戈（門田）など6点
福岡市教育委員会 (福岡市中央区天神1-7-23)	鐸形銅製品（今宿五郎江）
福岡市埋蔵文化財センター (福岡市博多区井相田2-1-94)	縄文土器・磨製石器（七田前）、細形銅劍（比恵）、木器（瑞穂・四箇・ツイジ）など19点

調査先地 (所)	主要な資料名(遺跡名)
福岡市立歴史資料館 (福岡市中央区天神1-15-30)	縄文土器・弥生土器(板付)・細形銅劍・把頭飾・前漢鏡(吉武樋渡)など23点
九州大学考古学研究室 (福岡市東区箱崎6-19-1)	貨泉・鉄製品(原ノ辻)・ガラス勾玉鑄型(弥永原)・銅矛・銅劍(宇木汲田)・中広形銅劍(伝岡垣)など21件
九州大学九州文化史研究所 (同上)	縄文土器・石庖丁(宇木汲田)など7点
北九州市立考古博物館 (北九州市小倉北区金田1-1-3)	鉄斧(高島)・小銅鐸レプリカ(別府)など10点
北九州市教育文化事業団 埋蔵文化財調査室 (同上)	五銖銭(守恒)・鉄斧・軽圧痕つき縄文土器(長行)など5点
行橋市教育委員会 (福岡県行橋市中央1-1-1)	板状鉄斧・鋳造鉄斧(下碑田)など8点
飯塚市歴史資料館 (福岡県飯塚市柏の森959-1)	前漢鏡・鉄製武器・中細形銅矛(立岩)など14点
宗像市教育委員会 (福岡県宗像市大字東郷955)	鉄戈(富地原梅木)・鉄錠・二重口縁壺(久原龍ヶ下)・蛇行状鉄器(大井三倉5号墳)など7点
香春町教育委員会 (福岡県田川郡香春町高野)	垂飾付耳飾(長畠古墳)
津屋崎町教育委員会 (福岡県宗像郡津屋崎町大字津屋崎)	銅鎌(今川)・器台形陶質土器(奴山5号墳)
古賀町教育委員会 (福岡県柏原郡古賀町大字久保)	琴柱形石製品(花見2号墳)
柏屋町教育委員会 (福岡県柏原郡柏屋町大字仲原5)	板状鉄斧(古大間池)など2点
志免町教育委員会 (福岡県柏原郡志免町大字志免965)	琴柱形石製品(七夕池古墳)
春日市教育委員会 (福岡県春日市大字下白水634-1)	小銅鐸系銅製品鑄型(岡本4丁目)・鐸鑄型・銅劍鑄型・銅矛鑄型(大谷)・ガラス勾玉鑄型(赤井手)など8点
大野城市教育委員会 (福岡県大野城市曙町2-17)	貨布(仲島)
筑紫野市歴史民俗資料館 (福岡県筑紫野市大字武藏457-2)	銅戈鑄型・石劍(永岡)・鉄戈・鉄矛(道場山)など5点
小郡市教育委員会 (福岡県小郡市小郡255-1)	銅鎌(大板井・三沢)・朝鮮系無文土器(みくにの東・鍋倉)など8点
甘木歴史資料館 (福岡県甘木市大字甘木字娘田)	中国式銅劍(中寒水)・陶質土器(池の上)など5点
夜須町教育委員会 (福岡県朝倉郡夜須町大字篠隈)	鐸形土製品・舌・鋳造鉄斧(琴の宮)など4点
岩戸山歴史資料館 (福岡県八女市大字吉田1396-1)	石人・石盾・石蓋(岩戸山古墳)など5点
前原町教育委員会 (福岡県糸島郡前原町大字前原623)	鐸形銅製品・銅舌(浦志A)
志摩町教育委員会 (福岡県糸島郡志摩町大字初32)	半両銭・貨泉・銅鎌・鋳造鉄斧など9点
熊本県教育委員会 (熊本市水前寺6-18-1)	銅鉈(神水)
熊本市立熊本博物館 (熊本市古京町3-2)	炭化米・炭化大麦(上の原)・鉄斧レプリカ(斎藤山)・石蓋(推定姫の城古墳)など11点

調査先 (所) 在地	主要な資料名(遺跡名)
山鹿市立博物館 (熊本県山鹿市大字鍋田2085)	石庖丁形鉄器・石庖丁・銅鏃・巴形銅器など8点
菊水町教育委員会 (熊本県玉名郡菊水町江田)	石人・円筒埴輪(江田船山古墳)など3点
竜北町教育委員会 (熊本県八代郡竜北町大字島地)	石翳・石蓋(姫の城古墳)など6点
川上勇蔵氏 (熊本県菊池市)	卯圧痕つき縄文土器(ワクド石)・貨泉(外園)
長崎県教育委員会 (長崎市江戸町2-13)	旧石器(百花台)・戦国式銅剣・ガラス玉・銅釧(原の辻)など78点
長崎県立美術博物館 (長崎市立山町2)	旧石器(日ノ岳)・中細形銅矛(景華園)など23点
大村市教育委員会 (長崎県大村市玖島郡25)	鉄戈・鉄剣(富の原)など4点
佐世保市博物館 (長崎県佐世保市島瀬町6-22)	豆粒文土器・細石器(泉福寺洞穴)など46点
小値賀町教育委員会 (長崎県北松浦郡小値賀町笛吹郷)	板状鉄斧(神ノ崎)2点
上対馬町教育委員会 (長崎県上対馬町大字比田勝)	陶質土器(コフノ隊)など6点
峰町教育委員会 (長崎県上対馬町大字三根)	黒曜石製刃器・磨製石器類(佐賀貝塚)など12点
林徹氏 (長崎市城栄町)	貨布(護国神社境内)
佐賀市教育委員会 (佐賀市栄町1-1)	推定盾形石製品(西原古墳)
鳥栖市教育委員会 (鳥栖市宿町1118)	銅鐸鋸型・銅矛鋸型(安永田)・人物埴輪(岡寺古墳)など12点
唐津市教育委員会 (唐津市西城内1-1)	旧石器(馬部葛藏山・枝去木山中)・縄文土器・磨製石器(菜畑)・銅製舌(宇木汲田)など45点
武雄市教育委員会 (武雄市武雄町大字武雄)	有鉤銅釧(茂手)
多久市教育委員会 (多久市北多久町大字小侍)	尖頭器(茶園原)など5点
基山町教育委員会 (佐賀県三養基郡基山町大字宮浦)	銅鋸先・鉄製品(千塔山)14点
三根町教育委員会 (佐賀県三養基郡三根町大字市武)	鐸形土製品(本分)など2点
北茂安町教育委員会 (佐賀県三養基郡北茂安町大字東尾)	細形銅戈(東尾・北尾)2点
上峰村教育委員会 (佐賀県三養基郡上峰村大字坊所)	蛇行剣(船石)など2点
神埼町教育委員会 (佐賀県神埼郡神埼町大字神埼)	旧石器(船塚)・鐸形土製品(利田柳・的五本黒木)など27点
三田川町教育委員会 (佐賀県神埼郡三田川町大字吉田)	銅矛(三田川町桜馬場)
千代田町教育委員会 (佐賀県神埼郡千代田町大字直鳥)	中細形銅劍鋸型・銅矛鋸型(姉)など4点

調査先 (所) 在地	主な資料名(遺跡名)
大和町教育委員会 (佐賀県佐賀郡大和町大字尼寺)	銅矛銅劍鋸型・銀製指輪(忽座遺跡)など5件
小城町教育委員会 (佐賀県小城郡小城町176)	釦形銅製品(布施ヶ里)
北波多村教育委員会 (佐賀県東松浦郡北波多村大字徳須恵)	細形銅矛(徳須恵)
肥前町教育委員会 (佐賀県東松浦郡肥前町大字入野)	旧石器(磯道・生石)など31点
大隈良貴氏 (佐賀市)	銅鑄(詫田)
七田民子氏 (佐賀県神埼郡神埼町)	銅矛(三田川町桜馬場),銅鑄(三津永田)など5点
文化化庁 (東京都千代田区霞ヶ関3-2-2)	銅鐸形土製品(上箕田),金製垂飾付耳飾(繁根木),銅鐸鋸型(東奈良)など10点
東京国立博物館 (東京都台東区上野公園13-9)	銅劍(羽方西の谷),多鈕細文鏡(名柄),銅鑄(名柄・氣比・過森台・伊奈),金製垂飾付耳飾(玉島古墳),須恵器(船山古墳)など12件
大阪文化財センター (東大阪市本庄西長田分室)	石庖丁・弥生土器(山賀),貨泉・銅鑄・小型仿製鏡(亀井),有鉤銅劍(巨摩庵寺),銅戈・同鋸型(瓜生堂)など30点
大阪府立泉北考古資料館 (大阪府堺市若松台2)	甲冑形埴輪・蓋形埴輪(蕃上山古墳),須恵器(陶邑・深田)など19点
大阪市立博物館 (大阪市東区大阪城1-1)	銅劍(千々賀),蓋台付碗形土器(瓜破)など11点
大阪市文化財協会 (大阪府東区法円坂1-6-48)	糊圧痕付縄文土器(長原)など7点
茨木市立文化財資料館 (大阪府茨木市東奈良3-12-18)	銅鐸鋸型・銅戈鋸型・フイゴ口(東奈良)など9点
東大阪市立郷土博物館 (大阪府東大阪市四条町18-12)	銅鐸鋸型・銅劍鋸型・銅鑄鋸型(鬼虎川)など8点
向日市文化資料館 (京都府向日市寺戸町南垣内40-1)	銅鐸鋸型(鶴冠井)
神戸市立博物館 (神戸市中央区京町24)	4号銅鐸・7号銅戈(桜ヶ丘)など5点
辰馬考古資料館 (兵庫県西宮市松下町2-28)	朝鮮式小銅鐸(入室里),横帯文銅鐸(伝伯耆)など4点
尼崎市立田能資料館 (兵庫県尼崎市田能字中の坪)	銅劍・銅劍鋸型・碧玉製管玉(田能)
伊丹市教育委員会 (兵庫県伊丹市千僧1-1)	石庖丁・縄文土器(口酒井)など7点
奈良県立橿原考古学研究所 附属博物館 (奈良県橿原市畝傍町50-2)	壺形埴輪(桜井茶臼山古墳)
桜井市教育委員会 (奈良県桜井市粟殿202)	銅鐸形土製品(芝)
田原本町教育委員会 (奈良県磯城郡田原本町阪手)	銅鐸土製鋸型と石製鋸型・フイゴ口(唐古鍵)
宇部市立図書館 (山口県宇部市島)	半兩錢・五銖錢・無文土器系甕形土器(沖ノ山)

# 資料の概要

博物館

## 1. 昭和60年度購入資料

### (1) 考古資料

資料名	規格	数量	備考
豎杵(複製品)	152.2 cm	1	菜畠遺跡出土品、京都科学標本KK
諸手鉄(〃)	30.8×14.5 cm	1	"
短弓(〃)	80.0 cm	1	"
エブリ(〃)	55.4×16.6 cm	1	"
磨製石鉄(〃)	6.4 cm	1	"
抉入石斧(〃)	11.5 cm	1	"
扁平片刀石斧(〃)	6.1 cm	1	"

### (2) 歴史資料

資料名	作者	数量	形状	備考
松に鶴図	草場船山	1	掛幅装 119.3×36.0 cm	文久3年(1863)
花鳥図	草場佩川	1	絹本着色淡彩六曲一隻 133.2×325.0 cm	慶応3年(1867)
京都風景図	古川松根	1	紙本着色・巻子装 29.8×848.9 cm	文久2年(1862)
写生図	古川松根	1	紙本着色淡彩 28.2×843.5 cm	明治3年(1870)
大石良雄宴樂図	古川松根	1	紙本着色・二曲一隻 85.7×43.2 cm	江戸時代
七言絶句二首	古川松根	1	紙本着色・二曲一双 132.1×55.9 cm	"
ほととぎすと美人文書き図	周幽斎夏龍	1	紙本着色・掛幅装 87.4×34.8 cm	"
日本山海名勝画譜	長谷川雪旦	1	紙本木版刷り23図 25.5×17.0 cm	明治時代
鷹図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅装 34.6×51.3 cm	寛政10年(1798)
梅に鷹図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅 77.8×50.0 cm	江戸時代
岩上鷹図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅 88.0×34.8 cm	"
岩上鷹図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅 120.9×38.5 cm	"
粟穂に叭々鳥図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅 100.5×32.3 cm	"
唐黍に鶴図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅 115.8×36.1 cm	"
菊溪双鴨図	天龍道人	1	紙本着色・掛幅 90.8×26.2 cm	"
葡萄図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 111.8×38.2 cm	"
葡萄図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 115.4×34.5 cm	"
葡萄図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 100.5×29.7 cm	"
墨竹図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 84.9×27.3 cm	"
山水図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 134.8×53.1 cm	"
觀瀑図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 121.2×46.1 cm	"
山水図	天龍童人	1	紙本着色淡彩・掛幅 126.7×27.3 cm	"
蘭石図	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 88.7×27.3 cm	"
四行書	天龍童人	1	紙本着色・掛幅 111.5×41.9 cm	"
島義勇書幅	島 義勇	1	紙本着色・掛幅 27.7×38.6 cm	"

## 2. 昭和60年度寄贈資料

### (1) 自然科学資料

資料名	数量	寄贈者
佐賀県産植物腊葉標本	12,000	佐賀植物友の会
キンモクセイ	1	鹿島市古枝甲 2346 普明寺 蒲原道英

### (2) 歴史資料

資料名	数量	寄贈者
三条実萬	1	唐津市北城内 5 高取紀子
化霖墨蹟	1	佐賀市川原町 5 の 3 富岡フミ
大潮墨蹟	1	"
富岡敬明書	1	"
島義勇書蹟	1	福岡市城南区烏鵲 7 丁目 竹中宏幸
島義勇書簡	2	"
島義勇歌三首	1	"
当世武勇伝（歌川国員画）	1	"
檀材枕本尊	1	東京都太田区北馬込 市村幸恵
脇差（8代忠吉）	1	佐賀市神野東 1 丁目 林エン
槍（下坂）	1	"

### (3) 民俗資料

資料名	数量	寄贈者
萬金丹の据看板	1	佐賀市神野東 中島英俊
脱穀機	1	神埼郡三田川町目達原 宮地薰
扇風機	1	"
長持	1	佐賀市唐人 2 丁目 浦郷公道
錢箱	1	"
時計台	1	"
小物入れ	1	"
火箱	1	"
縄燃機（宮崎式）	1	小城郡小城町松尾 木村武雄
縄燃機（川島式）	1	"
藁打機	1	"
箕	1	"
糞すぐり	1	"
ソロバン	1	"
鉢	1	"
石臼	1	東京都豊島区巣鴨 中島萬茅
壺	2	"
壺	2	"

資料名	数量	寄贈者
火鉢	1	東京都豊島区巣鴨 中島萬茅
瓶	2	"
鬼瓦	2	"
軒瓦	1	"
隅鬼	1	"

### 3. 昭和 60 年度寄託資料

#### (1) 考古資料

資料名	数量	形状	寄託者
銅矛	1	長 80.2 cm	佐賀県重要文化財（武雄市・江口真比古）

#### (2) 歴史資料

資料名	数量	形状	寄託者
銅製雲版	1	57.8×51.3 cm	天文23年銘 福岡県重文指定（聖福寺）
大般若経断簡	一括	紙本墨書き（版本）	中国宋時代 小城郡小城町、岩藏寺
石造馬頭観音坐像	一軀	高 65.0 cm	大和町下都渡城地区（更改）

昭和60年度購入及び寄贈図書

(1) 購入図書

書名	発行所	書名	発行所
日本屏風絵集成	株金華堂	肥前陶磁思考	株金華堂
肥前史談	"	新日本植物史(顯花編)	"
国史大辞典	"	神道考古学講座	"
全国博物館総覧	株ぎょうせい		

(2) 寄贈図書

書名	寄贈者	書名	寄贈者
近代日本の洋画展	姫路市立美術館	大宮大寺	飛鳥資料館
史料館紀要 第3号	学習院大学史料館	中国の仏像展	熊本県立美術館
考古学資料館紀要	国学院大学	保光たら	保光たら発掘調査團
博物館学紀要	"		
善光寺信仰	長野市立博物館	レングランド銅版画展	フジカワ画廊福岡店
考古学等資料室紀要 第2号	関西大学考古学資料室	佐比内鉄鉱山	遠野市立博物館
北方町史 上巻	北方町	図説資料日本史	浜島書店
吉野純作品集	筑波大学芸術学系	日本洋画史	美術出版社
松本遺跡 上巻	那河川町教育委員会	地質鉱物標本	市立函館博物館
" 下巻	"	紀要第11号	埼玉県立博物館
福岡市の文化財	福岡市教育委員会	日本の歴史と文化	国立歴史民俗博物館
ひとつの資料から	岩手県立博物館	堺の遺跡と出土品	堺市博物館
研究報告 第9集	福岡市立歴史資料館	淡路人形かしら	兵庫県立歴史博物館
奈良国立博物館年報	奈良国立博物館	ひょうごの文化財	"
佐賀県統計年鑑	佐賀県総務部統計課	堀りだされた城下町	"
35モダンアート展	モダンアート協会	川端龍子展	福島県立美術館
現代日本の花鳥画2	小栗 潮	年報	埼玉県立近代美術館
中村貞夫画集	中村貞夫	資料館紀要 第13号	京都府立総合資料館
西ノ原地区遺跡	宮崎市教育委員会	研究論集Ⅲ	東京都埋蔵文化財センター
昭和57・58年度年報	笠岡市立竹喬美術館	年報 昭和58年度	"
正倉院年報 第7号	宮内庁正倉院事務所	雄獅美術 5月号	雄獅美術月刊社
現代彫刻の歩み	神奈川県立県民ホール	大阪府立大学紀要 第33巻	大阪府立大学
日本の金工	東京国立博物館	流政文	江戸堀画廊
加越能美術史資料	金沢美術工芸大学	技術と民俗(上)	小学館
第71回光風会展作品集	社団法人 光風会	宿場	埼玉県立博物館
尾形家絵画資料目録	福岡県文化会館	深井釉の陶器	名古屋市博物館
弥生文化と日高遺跡	群馬県立歴史博物館	大県南遺跡	柏原市歴史資料館
美術史論叢 I	東京大学美術史研究室	本郷遺跡・玉手山遺跡	"
日本美術年鑑 1983	東京国立文化財研究所	大県・大県南遺跡	"
		愛媛の自然 1~6号	愛媛県立博物館
		野村町付近の地質	"
		山岳信仰の遺宝	奈良国立博物館

書名	寄贈者	書名	寄贈者
神奈川自然誌資料	神奈川県立博物館	研究紀要 № 10	宮崎県総合博物館
牧古窯跡	北方町教育委員会	収蔵品資料目録	"
近江の古経典	滋賀県立琵琶湖文化館	姉遺跡 I	千代田町教育委員会
色鍋島の美	岩波書店	ルチオ・フォンタナ	ギャラリーアートポイント
百枝遺跡	三重町教育委員会	紀要 A (自然科学)	岡山理科大学
年報 53年度	熊本県立美術館	〃 B (人文・社会科学)	"
古田遺跡	小佐々町教育委員会	北海道の歴史と文書	北海道立文書館
木器集成図録	奈良国立文化財研究所	年報 № 2	神戸市立博物館
所蔵品図録	石川県立美術館	研究紀要第 2 号	"
西小田地区遺跡	筑紫野市教育委員会	長法寺南源古墳Ⅲ	大阪大学文学部
阿志岐古墳群 II	"	年報 58~59年度	広島県立美術館
蔵品目録 第 5 集	奈良県立美術館	館報 第 6 号	富山市科学文化センター
美術研究 第 330 号	東京国立文化財研究所	紀要 I	財東大阪市文化財協会
" 第 331 号	"	年報 1983 年度	"
多賀城と古代東北	東北歴史資料館	若江北遺跡	"
江合川流域の旧石器	"	横山大観展	茨城県立美術博物館
郷ノ木遺跡市場遺跡	武雄市教育委員会	紀要創刊号	奈良県立美術館
最上川~紅花の道~	山形県立博物館	概要	京都国立博物館
L O E I L	フジカワ画廊東京店	金大考古 第 11 号	金沢大学文学部
座女の習俗 I	文化庁伝統文化課	現代のやきもの展	吳市立美術館
近代洋画名作展	京都国立近代美術館	相模流域の横穴墓	平塚市博物館
忌部山古墳群	徳島県博物館	韓国考古学地図	韓国考古学研究会
ニシ塚古墳群	野田市郷土博物館	調査報告集 6	国立民族学博物館
絵の放浪	古沢岩美	研究報告 10 卷 1 号	"
館報 59年度	和歌山県立自然博物館	自然のかたちと美術	福岡県立美術館
和歌山県の自然	"	日韓文化交流展	佐賀新聞社
無限大 № 69	日本アイビーエム(株)	田端不動坂遺跡	田端不動坂遺跡調査団
本屋敷古墳群の研究	法政大学文学部	京都府遺跡地図	京都府教育委員会
筑後国府跡国分寺跡	久留米市教育委員会	サンゴ礁	山口県立山口博物館
三枝家文書	"	山口県の古生物	"
曲物	埼玉県立民俗文化センター	西脇・多河の歴史と文化	兵庫県立歴史博物館
埼玉の鍛冶	"	紀要 第 14 号	石川県立郷土資料館
川畦遺跡	北波多村教育委員会	大鋸コレクション目録	"
墨 第 55 号	芸術新聞社	岩手の仕事着展	岩手県立博物館
年報	東京国立近代美術館	研究報告 第 11 号	神奈川県立博物館
井上武吉新作展	東京都美術館	〃 第 12 号	"
長崎のコレジョ	純心女子短期大学	近世近代歴史資料目録	"
松本弘二展	アートセンターホール	友添泰典画集	筑後市教育委員会
		館報 50	出光美術館

書名	寄贈者	書名	寄贈者
熊本県の民俗芸能	熊本県教育庁文化課	博物館研究	日本博物館協会
展示等改善事業の記録	埼玉県立博物館	一陽展	一陽会
紀要 第6号	群馬県立歴史博物館	姫路市立美術館年報	姫路市立美術館
調査報告書 第1号	群馬県立歴史博物館	さつまやき	鹿児島県歴史資料センター
足柄の民俗(Ⅰ)	神奈川県立博物館		
炎芸術11	阿部出版	書画 1019号	思文閣美術
収蔵品目録 第1, 2	財黒川古文化研究所	この道五十年	みの美術店
" 第3	"	研究紀要 第2号	多摩美術大学図書館
" 第4, 5, 6, 7	"	有田町史陶業編Ⅱ	有田町教育委員会
縄文時代 (I)	千葉県立文化財センター	N H K 年鑑85	N H K 佐賀放送局
研究紀要 9	"	浮世絵に描かれた郷土	富士市立博物館
研究連絡誌 第9~13号	"	仙居	出光美術館
'85要覧	北海道開拓記念館	中町馬場遺跡	鹿児島大学法文学部
北海道一億年	"	特別展「絵馬」	兵庫県立歴史博物館
北方民族展	アイヌ民族博物館	九州女流画家展	九州女流画家展事務局
防府市文化財調査年報 V	防府市教育委員会	陶芸の道 上下巻	永竹咸
" VI	"	金澤文庫研究	神奈川県立金沢文庫
" VII	"	鎌倉時代の本のすがた	"
防府の木喰仏	"	美術資料	国立中央博物館
佐藤太清画集	実業之日本社	日野市栄町遺跡	日野市栄町遺跡調査会
日本美術名品展	名古屋市博物館	無限大 №68	日本アイビーエム(株)
平城宮発掘調査報告 X	奈良国立文化財研究所	サモト遺跡	熊本大学文学部
" XII	"	田代順七展	熊本県立美術館
西宮の歴史と文化	西宮市立郷土資料館	現代デザインの展望(図録)	東京国立近代美術館
西宮市立郷土資料館目録	"	遊行の美術(図録)	神奈川県立博物館
漆器の美	小松市立博物館	備前藤原雄展(図録)	藤原雄
書道に親しむ行書・草書	日本放送出版協会	第17回東美オークション	東京美術協同組合
山口県立美術館年報	山口県立美術館	古代久留米を探る	久留米市教育委員会
天建寺土井内遺跡	三根町教育委員会	肥後の古代の美(図録)	熊本県立美術館
館報	山口県立山口博物館	第12回創画展	創画会
研究報告 第11号	"	二科70年史(戦前編)	大隈武史
年報 第6号	群馬県立歴史博物館	" (戦後編)	"
第10回記念歩会彫刻展	歩会事務所	研究報告 自然科学16号	神奈川県立博物館
年報 59年度	九州歴史資料館	三重県立美術館ニュース	三重県立美術館
研究論集 10	"	" 年報	"
日本画の秀作展	フジキ画廊	研究論集	"
メキシコの民芸	埼玉県立博物館	古墳時代の馬具	名古屋市博物館
戦国の上州武将	群馬県立歴史博物館	火ーくらしと祈りー(図録)	石川県立郷土資料館
北の彫刻展	札幌彫刻美術館	馬のシルクロード展(図録)	根岸競馬記念公苑
第2回北の彫刻展	"	保存科学 第24号	東京国立文化財研究所
第2回本郷新賞	"		

書名	寄贈者	書名	寄贈者
石造文化財の保存と修復	東京国立文化財研究所	細野稔人彫刻展(図録)	細野稔人
研究紀要 第2号	埼玉県立民俗文化センター	年報2号	財鹿島美術財団
所報 4	"	細川家の歴史展	北九州市立歴史博物館
京の百景(図録)	秋田市美術館	研究紀要4	愛知県陶磁資料館
MUSEUM 5~10月号	東京国立博物館	奥村土牛自撰索描展	横浜市民ギャラリー
大月の版画	大月版画グループ	阪神古書籍即売会目録	ギャラリーヒロオカ
福井県立博物館紀要 第1号	福井県立博物館	山田書店古書目録 第7号	山田書店古書部
遺跡は語る(図録)	"	修復研究所報告	高澤学園
一誠堂古書目録	一誠堂書店	町田市仏像調査報告書	町田市立博物館
埼玉県立近代美術館年報	埼玉県立近代美術館	香川県埋蔵文化財調査年報	香川県教育委員会
研究報告 第8号	富山市科学文化センター	松原市遺跡発掘調査概要	松原市教育委員会
カジ・ギャスティン展	丸の内画廊	芸術家年鑑 1986	株日本美術出版
筑波大学芸術年報	筑波大学	浮世絵歌川派展(図録)	大分県立芸術会館
春の院展全作品集	日本美術院	日本洋画の三代	石橋美術館
諸員名簿	"	小野忠弘展(図録)	福井県立美術館
日展作品集	朝日展	戦後日本画の一断面	山口県立美術館
池田龍雄の世界	池田20世紀美術館	忠敬堂古地図目録 第25号	忠敬堂
武器・武具・馬具	宮内庁書陵部	思文閣墨蹟資料目録	株思文閣
要覧 昭和60年度	東京都美術館	松田締晶展	石橋美術館
現代美術の40年	"	伊東静尾展	"
正倉院展	奈良国立博物館	探集と飼育	財日本科学協会
年報	国立科学博物館	資料図録	通信博物館
帖佐美行展(図録)	読売新聞社	思文閣美術サロン	株思文閣
吉母浜遺跡	下関教育委員会	慶文堂古書目録	慶文堂書店
春日市の民族5	春日市教育委員会	年報	福井県立美術館
有田町史政治・社会編1	有田町教育委員会	古代史の鍵・対馬	大和書房
県展史	香川県文化会館	画家フォンタネージ	中央公論美術出版
愛媛の自然	愛媛自然科学教室	芸術のエスプリ	"
紀要 第3号	静岡県教育委員会	墨 第58号	芸術新聞社
考古学研究室研究紀要	東京大学文学部	御手洗古墳・鬼ノ口古墳	呼子町教育委員会
年報 昭和59年度	長野市立博物館	収蔵品目録	福岡市博物館建設準備室
考古学資料館要覧	国学院大学考古学資料館	美術家名鑑	美術俱楽部出版局
神奈川を描く(図録)	朝日新聞社	研究報告 第6号	山形県立博物館
年報 昭和59年度	山梨県立美術館	国立博物館古墳調査報告	国立中央博物館
美術年鑑 1986	株美術年鑑社	経塚遺宝展	北九州市立考古博物館
再興院展70年の歩み(図録)	財日本美術院	年報	群馬県立近代美術館
山下 清	山下清企画室	渡慶次の民話	諏訪村立歴史民俗資料館
メキシコの美	埼玉県立近代美術館	佐賀県の百年	山川出版社
近代日本画名作展	山形美術館	現代アメリカ版画	フジヰ画廊

書名	寄贈者	書名	寄贈者
下岡田遺跡発掘調査概報	府中教育委員会	史跡金隈遺跡	福岡市教育委員会
横浜競馬・人名録	根岸競馬記念公苑	多々良込田遺跡Ⅲ	〃
紀要	嵯峨美術短期大学	博多	〃
人形工芸	東京国立近代美術館	大谷古墳群Ⅱ	〃
現代染織の美	〃	千隈熊添古墳	〃
棟方志功展	東京国立近代美術館	有田・小田部 第6集	〃
MODIGLIANI	〃	浦田遺跡群(IV)丸尾古墳	〃
ドイツ絵画名作展	〃	総合歴史資料集	日本教育研究センター
洋風表現の導入	〃	書陵部紀要	宮内庁書陵部
BOTANY No.35	熊本記念植物採集会	年報	東北歴史資料館
現代デザインの展望	東京国立近代美術館	研究紀要	〃
佐賀東高紀要 第22号	佐賀県立佐賀東高等学校	基本マニュアル	大阪文化財センター
坂本遺跡発掘調査報告書	玉川文化財研究所	成合寺	〃
大ヶ谷戸遺跡 〃	〃	長原	〃
研究紀要	栃木県立博物館	近代美術協会展	近代美術協会
府中町教育要覧	府中教育委員会	現代日本の花鳥画2	小栗 潮
安芸府中の文化	府中教育委員会	日本洋画商史	美術出版社
研究報告	国立民族学博物館	海獸葡萄鏡	刀剣春秋新聞社
年報	兵庫県立近代美術館	佐藤太清画集	実業之日本社
かお	埼玉県立博物館	二科70年史(戦前編・戦後編)	大隈武夫
卒展	東京芸術大学	茶道聚錦 第5巻	㈱小学館
激動期の島津氏(図録)	鹿児島県歴史資料センター	ブラジル美術史 VOL I	C B M M インターナショナルリミターダオリエント事務所
兵庫の古瓦－淡路－	兵庫県立歴史博物館	〃 VOL II	
漁とくらし	長野市立博物館	行橋市文化財調査報告書	
MUSEUM	東京国立博物館	( 弥生時代前期～中期 )	
源喜堂文書目録	源喜堂書店	( 〃 後期～古代 )	
研究紀要	北海道立文書館		
大阪府の銅鐸図録	大阪府立泉北考古資料館		
馬のシルクロード展	根岸競馬記念公苑		
佐賀県の近世社寺建築	佐賀県教育委員会		
年報	富士市立博物館		
紀要	徳島県博物館		
研究報告	斜里町立知床博物館		
人文学論集	大阪府立大学総合科学部		
秀作美術 No.33	秀作美術社		
文学賞作品集 16	九州文化協会		
総合日本史	東京法令出版(㈱)		
戦国日本と世界	㈱ぎょうせい		
赤堀尚近作展	フジカワ画廊東京店		

## 茶室「清恵庵」の管理と運営の概況

### 1 茶室の規模および施設

茶室「清恵庵」は昭和48年10月郷土出身の実業家故市村清氏のご遺志により、同夫人幸恵氏より本県に寄贈されたもので、今年で13年目を迎える。利用の傾向としては普及が広く一般に渗透し、県内、県外の茶道各流派のグループによる利用や、各種団体による茶会など幅広く利用された。

設計者 堀口捨己 東京都太田区山王4-6-5  
早川正夫 東京都港区青山5-9-12  
構 造 木造平家建寄棟造り  
規 模 床面積 57.35 m<sup>2</sup>

アイザワビル

### 2 茶室の利用状況

茶室「清恵庵」の利用については、13年目に入り県内はもとより県外にも広く周知され、好評を得ている。

今年度は、各流の茶道グループ、婦人学級、青年団、学校などの団体あるいは、茶道愛好会など利用者の幅もさらに広まり、社会教育、学校教育の一環として広く利用された。

月別にみた利用状況は下記の通りである。

昭 和 60 年 度			
月	利用団体数	利用者数	見学者数
4	1	11	2
5	1	5	19
6	3	66	13
7	0	0	3
8	0	0	1
9	0	0	10
10	3	223	34
11	1	9	45
12	1	41	2
1	3	81	2
2	0	0	3
3	3	49	2
計	16	485	136

### 3 茶道具備品

(1) 昭和60年度末の概況は次のとおりである。  
191点。

掛物（淡々斎宗室、希斎宗有、大徳寺桃林の書、村瀬玄妙の書、壳茶翁の二行書、千宗佐、千代尼）  
花入（胡銅、朝鮮唐津「中里重利作」、黒牟田焼

「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、備前焼、竹花入「生野祥雲斎作」、竹一重切花入「宗陵作」、有馬千鳥籠花入、有馬ひさご籠花入「昭竹斎作」、青磁鶴首花入「小笠原崖作」）

香合・香炉（「12代今泉今右衛門作」、「井上萬二作」、黒牟田焼「丸田正美作」、「宗祥作」、菊花書詰蒔絵卵香合「助市作」、「13代今泉今右衛門作」、「源右衛門作」）

茶碗（唐津奥高麗「中里無庵作」、絵唐津・唐津刷毛目「13代中里太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、大川内焼青磁「小笠原崖作」、青磁「中島宏作」、唐津井戸・唐津皮鯨茶碗「中里重利作」、白磁茶碗「初代忠右衛門作」、黒楽茶碗「小川長樂作」、志野茶碗「荒川豊蔵作」、支那焼、高麗斗々屋「千漢鳳作」）

水指（信楽焼「高橋染斎作」、朝鮮唐津「中里重利作」、小山路焼「江口勝美作」、染付「12代今泉今右衛門」、高麗「千漢鳳作」）

薄茶器（沈金聚「安村稔作」）

濃茶器（13代酒井田柿右衛門作）

茶杓（宗泰作）

風炉（利休面取風炉、切合唐銅風炉、合金面取風炉、鬼面共耳風炉）

釜（切合金・竹紋縁口釜「松寿作」、筋入炉釜、菊桐地紋炉釜、雲竜釜「高橋敬典作」、尻張釜「高橋敬典作」、鬼面共耳風炉釜「横倉嘉山作」）

棚（竹台子、桐丸卓、桑小卓、真塗長坂）

火入（染付「12代今泉今右衛門作」）

菓子器（唐津焼「13代太郎右衛門作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、青磁「中島宏作」、現川焼）

建水（不審庵伝来写「11代中川淨益作」、黒牟田焼「丸田正美作」、小山路焼「江口勝美作」、唐銅）

風炉先屏風（秋草蒔絵）

炉縁（高台寺蒔絵「柴田利雄作」）

曲湯桶、置炉、瓶掛、蒟蒻塗四方盆、茶托と蓋、茶碾、茶壺

昭和60年度

佐賀県立美術館

## 美術館の沿革

昭和55年3月	県政百年記念事業の一環として、昭和58年開館を目指し、佐賀県立美術館の建設を決定。
昭和55年4月25日	佐賀県立美術館建設委員会設置。
昭和55年12月10日	安井建築設計事務所による基本設計採用。
昭和56年3月31日	安井建築設計事務所による実施設計採用。
昭和56年10月26日	佐賀県立美術館建設着工。
昭和58年1月31日	佐賀県立美術館建設完工。
昭和58年4月1日	佐賀県立美術館設置条例施行。
昭和58年4月1日	佐賀県博物館及び美術館協議会条例施行。
昭和58年4月1日	佐賀県立美術館処務規則施行。
昭和58年10月7日	山口亮一遺作64点を山口三千也氏より寄贈受く。
昭和58年10月8日	佐賀県立美術館落成式、開館記念展「近代・九州の洋画家たち展」開かる。 (以上のほか、多くの方々から貴重な資料を寄贈して頂きました。 ここには点数の特に多いもののみを記載しました。)

## 美術館日誌（昭和60年度）

4月1日	職員人事異動	8月28日	EVENT'85（9月1日迄）
4月2日	第1期常設展「近代の美術・工芸」 (5月6日迄)	9月4日	第17回佐賀県勤労者美術展 (9月8日迄)
4月16日	「近代洋画名作展」普及活動開始 (5月2日迄)	9月7日	第6回九州新工芸展（9月16日迄）
4月23日	舟一朝造形展（4月29日迄）	9月20日	昭和60年度日本芸術院美術展開場式 (10月13日迄)
5月2日	第16回正筆会菁華展・第6回九州正筆会展（5月6日迄）	10月16日	農協共済小中学生第11回交通安全ポスター展・第21回書道展（10月20日迄）
5月5日	「子どもの日」常設展無料開館	11月1日	第35回佐賀県美術展（11月10日迄）
5月11日	近代洋画名作展開場式（6月2日迄）	11月16日	第9回佐賀県高等学校芸術祭開会式 (11月24日迄)
5月14日	平松老人大学講義（美術館研修室）	11月23日	第9回佐賀県高等学校芸術祭・演劇祭 (11月24日迄)
6月8日	第68回佐賀美術協会展（6月16日迄）	11月27日	第26回佐賀県学童美術展（12月1日迄） 第5回九州二科会写真部公募展 (12月1日迄)
6月19日	第10回佐賀県書作家協会展 (6月23日迄)	12月5日	第3期常設展「近代の美術・工芸」 (3月2日迄)
	第2期常設展「近代の美術・工芸」 (8月14日迄)	12月7日	九州芸術学会（美術館研修室）
7月10日	第2回佐賀県写真協会展（7月14日迄）	12月11日	第9回エマ会展（12月15日迄）
7月17日	第6回二科会佐賀支部展（7月21日迄）	12月18日	第6回佐賀新聞学生書道展 (12月22日迄)
7月19日	資料収集委員会	12月28日	執務納め式
7月24日	独立C.S展（7月28日迄）	1月4日	執務始め式
7月31日	武雄市絵画クラブ10周年記念佐賀展 (8月4日迄)	1月15日	「成人の日」常設展無料開館
8月2日	石膏デッサン教室開講式（8月30日迄）	1月22日	さが行動会展（1月26日迄）
8月7日	緑光会展（8月11日迄）	1月29日	第8回二紀佐賀グループ展（2月2日迄）
8月14日	日韓文化交流展開場式（8月18日迄）		
8月21日	蒼海・梧竹展（9月1日迄）		
	第13回七夕書道展（8月25日迄）		

2月3日 高等学校デッサンコンクール	2月26日 第15回九州グラフィックデザイン展
2月5日 第31回書初書道展（2月9日迄）	（3月2日迄）
2月19日 佐賀大学教育学部美術工芸科卒業制作展 （2月23日迄）	3月8日 佐賀県現代美術展（3月30日迄）

### 規模および施設

構造 鉄筋コンクリート造 一階建 一部二階建

規模 敷地面積 7,986 m<sup>2</sup>

建築面積 3,644 m<sup>2</sup>

延床面積 4,238 m<sup>2</sup>

### 施設

1号展示室	204 m <sup>2</sup>	倉庫	5 m <sup>2</sup>
2号展示室	230 m <sup>2</sup>	ホール	529 m <sup>2</sup>
3号展示室	250 m <sup>2</sup>	和楽室・洋楽室	39 m <sup>2</sup>
4号展示室	366 m <sup>2</sup>	準備室	18 m <sup>2</sup>
収蔵庫	319 m <sup>2</sup>	映写室	12 m <sup>2</sup>
収蔵庫前室	26 m <sup>2</sup>	機械室	47 m <sup>2</sup>
荷解場	120 m <sup>2</sup>	倉庫	13 m <sup>2</sup>
倉庫	79 m <sup>2</sup>	便所	34 m <sup>2</sup>
画廊・準備室	137 m <sup>2</sup>	ホワイエ	126 m <sup>2</sup>
研修室	135 m <sup>2</sup>	休憩室	56 m <sup>2</sup>
事務室	148 m <sup>2</sup>	便所	93 m <sup>2</sup>
写真室・暗室	58 m <sup>2</sup>	廊下・階段等	1,114 m <sup>2</sup>
機械室	80 m <sup>2</sup>		

※組織は全て博物館と同様であり、博物館職員全員がそれぞれ対応する職を兼務している。

### 昭和60年度歳出予算（美術館）

科 目	予算額（単位千円）	科 目	予算額（単位千円）
(美術館費)		3. 調査研究費	158
1. 管理運営費	44,910	研究費	94
管理費	44,796	調査費	64
会議及び研修費	114	4. 企画展費	4,068
2. 資料整備費	26,318	5. 常設展費	3,271
資料購入費	20,169	6. 普及活動費	222
資料整理費	5,949		
資料収集費	200	計	78,947

# 事業の実施状況

## 1. 昭和60年度 常設展（美術館）

第1期 4月1日～5月6日

第2期 6月19日～8月14日

第3期 12月5日～昭和61年3月2日

### I 彫塑 古賀忠雄（1号A展示室）

芸術院会員の故古賀忠雄氏の作品を一同に展示。  
マドリッドの女・伸びる・花売り・かんざし・  
流れに立つ・練磨・愛と平和・二人の女・婦人  
像・草原を行く・寸暇・伸びよ時代・間

### II 現代の工芸（1号B展示室）

佐賀県を代表する陶芸界の、12代酒井田柿右衛門・12代今泉今右衛門・12代中里太郎右衛門の3名を紹介。

- 潟手彩色絵草花文蓋物
- 色鍋島更紗文八角大鉢
- 叩き黄唐津壺

染色では、木版摺り更紗で型紙染と木版摺りを併用した鍋島更紗の技法を復元し、独自の境地をひらいた鈴田照次の作品を展示。

小さな企画展として、現代的な民芸陶器を紹介する意味で丸田正美の遺作を展示し、併せて写真による作陶風景をも紹介した。

### III 近代・現代美術

#### <第1期> （3号展示室・新収蔵品展）

絵画 江口 良：サレジオの見える森・入江・接吻・静物

三根霞郷：竹林・雪景・日吉町瓦焼・境内・  
荷車を引く人・自画像

内山 孝：オーベル秋意・夏の海ヴェネチア

村岡平蔵：風・テラコッタ

甲斐仁代：二人の人形の静物・静物

小栗 潮：陽・ぼたん

#### (4号展示室)

百武兼行：耕作・バーナード城下絵・老婦人像・タンパリンを持つ少女・鍋島直大像

久米桂一郎：加茂川の新緑・残曛下絵

岡田三郎助：西洋婦人像・富士山・花野・若き娘の顔・伊豆山

山口亮一：山ゆり・白いバラ・筑紫野・

草（自由像）

北島浅一：座せる裸婦・パリの踊り子・画家の妹

御厨純一：モレーの秋・パリ風景・自画像

武藤辰平：ヘーグ市街・カルタとり（セザンヌ模写）・風景虹

#### <第2期>

#### (2号展示室)

百武兼行：バーナード城下絵・馬車のある風景・耕作・老婦人像・タンパリンを持つ少女・鍋島直大像

久米桂一郎：加茂川の新緑・残曛下絵

黒田清輝：小代為重像・画室内

藤島武二：老人像・裸婦・蘇州河激戦の跡・裸婦（パステル）

岡田三郎助：大磯風景・庭・富士山・伊豆山・風景習作・老人像・婦人半身像・女の顔・冠を見つけた女の像

#### (3号展示室)

納富 進：竜王峠 松本弘二：滞船

江口 良：入江 井手誠一：風景日本海

池田龍雄：砦 古沢岩美：女三代

小栗 潮：陽 立石春美：節巻きの女  
池田幸太郎：隅田川

#### <第3期>

#### (2号展示室)

百武兼行：耕作・バーナード城下絵・老婦人像・マンドリンを持つ少女・タンパリンを持つ少女

黒田清輝：画室内

久米桂一郎：加茂川の新緑・残曛下絵

岡田三郎助：西洋婦人像・老人像・花野・若き娘の顔・伊豆山・富士山

藤島武二：老人像・裸婦・蘇州河激戦の跡・風景

#### (3号展示室)

青木 繁：男の像・ランプ・神話・夕焼けの海・朝日・木下大尉像・筑後風景・絵葉書・かるた・扇面

山口亮一：草（自由像）・山ゆり・緑の庭・白いばら・筑紫野

## 2. 常設特別展

蒼海・梧竹展

主 催 佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県立美術館

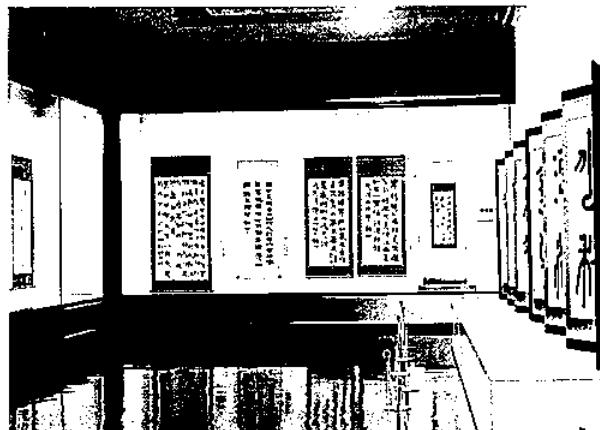
協 賛 佐賀新聞社、佐賀県書道教育連盟

会 期 昭和60年8月21日(水)~9月1日(日)

会 場 佐賀県立美術館 2号・3号展示室

展示概況

佐賀県出身で明治期にすぐれた書作を行なった副



島種臣(蒼海)、中林隆経(梧竹)の書芸を紹介する展覧会を開催した。

蒼海は明治維新政府で外務卿を務め、能書家として当時から知られ、梧竹は若年より江戸に出、書家山内香雪に学ぶなど専門書家として活躍した。展覧会では二人の書風の変遷をたどることを主眼とし、県内に多数存在する作品のなかから未発表資料を中心に約90点の作品と、二人が用いた印章をあわせて展示した。

## 蒼海・梧竹展

**佐賀県立美術館** 佐賀市城内1-15-23 TEL(0952)24-3947  
**1985年8月21日(水)~9月1日(日)** (但し、8月26日休館)  
 主催=佐賀県・佐賀県教育委員会・佐賀県立美術館  
 協賛=佐賀新聞社・佐賀県書道教育連盟  
 ●入館料=大人200円(150円) 大・高校生150円(100円) 中・小学生70円(50円)  
 <但し、常設展観覧料を含む。( )内は20名以上団体料金>

## 出品目録

副島蒼海

No	作 品 名	材質	形 態	寸 法 (cm)	所 �藏
1	詠不盡山 五行書	紙本	一 幅	109.5 × 60.9	
2	四字横書「愛速瓦石」	〃	一 卷	32.6 × 105.4	
3	二行書「積善之家……」	絹本	双 幅	約145.3 × 45.2	
4	秋江別 五言絶句三行書	紙本	一 幅	130.1 × 64.9	
5	草稿「国土繁昌……」	〃	〃	30.3 × 40.0	
6	草稿「秋霧の中に……」	紙本	〃	35.3 × 59.3	
7	六行書「慨然獨内……」	〃	〃	139.5 × 67.3	
8	三行書「慷慨悲歌……」	紙本	〃	184.7 × 48.1	
9	五言絶句二行書「十年報國……」	〃	〃	181.5 × 48.5	
10	草稿「有唐歐陽詢……」	〃	〃	17.7 × 46.6	
11	草稿「張旭三杯酒……」	〃	〃	17.6 × 45.4	
12	草稿「一代蘇東坡……」	〃	〃	17.6 × 46.6	
13	二字横書「郁芳」	〃	一 面	37.1 × 85.1	
14	五行書「未嘗邪勝正……」	紙本	一 幅	162.6 × 40.2	
15	三行書「媒人之言……」	紙本	〃	138.1 × 43.8	
16	四字横書「神降百福」	〃	一 面	41.5 × 153.0	与賀神社(佐賀市)
17	三字横書「独立亭」	〃	〃	62.0 × 178.0	
18	四言詩 四行書	〃	一 幅	137.6 × 66.0	
19	分夜月吟。得夜。七言絶句二行書	絹本	〃	148.4 × 35.4	

No.	作品名	材質	形態	寸法(cm)	所蔵
20	二行書「人生墜地……」	紙本	一 幅	137.6 × 67.2	
21	二行書「西園公子……」	"	"	249.0 × 123.0	佐賀県立美術館
22	三行書「堯日舜年……」	"	"	151.1 × 81.3	
23	二行書「堯年舜日……」	"	"	132.4 × 65.4	
24	二行書「黃牛峽静……」	"	"	179.6 × 48.3	
25	三字横書「議事堂」	"	一 面	39.0 × 140.0	佐賀県議会
26	四字横書「帰雲飛雨」	"	"	45.0 × 137.0	
27	三行書「良知良能……」	"	一 幅	178.7 × 91.4	
28	三行書「根院諒終……」	"	"	136.0 × 63.8	
29	二字横書「大禱」	絹本	一 面	50.5 × 143.5	
30	五言律詩扇面「山中酒應熟……」	紙本	一 幅	15.1 × 49.6	
31	春日行 七言絶句三行書	絹本	"	128.7 × 52.7	
32	蜀相屏風	紙本	六曲一隻	150.0 × 361.8	
33	登金陵鳳凰臺屏風	"	"	"	
34	杜若 四行書	"	一 幅	123.6 × 37.9	
35	一行書「有志者事終成」	"	"	144.0 × 38.5	佐賀県立美術館
36	四字横書「稼穡維寶」	絹本	一 面	43.1 × 122.6	
37	孔子像画譜「子曰參乎……」	紙本	一 幅	136.2 × 36.6	
38	七言絶句二行書「國月日飛……」	"	"	141.5 × 52.1	
39	二字横書「曹溪」	"	一 面	77.5 × 147.5	高伝寺(佐賀市)
40	三字横書「宏濟閣」	"	"	118.0 × 360.0	伊万里市役所
41	一大字「喜」	絹本	一 幅	104.5 × 36.1	
42	書簡	紙本	一 卷	17.9 × 128.3	
43	印章		二 一 顆		

### 中林梧竹

44	五言絶句三行書「小浦聞漁……」	紙本	一 幅	82.1 × 33.7	
45	二字横書「樸園」	竹	一 面	13.0 × 71.4	
46	漢詩屏風	紙本	四曲一隻	(各扇)101.9×30.3	
47	於天津 七言絶句三行書	"	一 幅	148.0 × 69.3	
48	過天津港 七言絶句三行書	"	"	"	
49	過居庸關 七言絶句三行書	紙本	"	149.0 × 56.3	
50	七言律詩五行書「黃閣文章……」	絹本	"	97.0 × 42.5	
51	七言律詩六行書「当年優國……」	紙本	"	176.7 × 93.6	
52	西湖雜詩 七言絶句三行書	"	"	134.3 × 67.1	
53	三言書「大魏正光……」	"	"	130.7 × 62.3	
54	七字書「勿以惡小而為之」	"	"	130.4 × 29.0	
55	七言一行聯書「戶繞青幽……」	"	双 幅	151.0 × 23.3	
56	七言一行聯書「苔鮮不招……」	"	"	148.8 × 25.6	
57	木蘭詩 十二行書「唧々復唧々……」	"	一 幅	246.2 × 122.4	
58	七言律詩三首書「洲々晴波……」	"	"	134.7 × 66.6	
59	六行書「黃閣文章……」	"	"	111.0 × 39.5	
60	五言律詩四行書「別業居幽……」	"	"	176.2 × 49.9	

No.	作 品 名	材質	形 態	寸 法 (cm)	所 藏
61	三行書「上林供宮……」	紙本	一 幅	155.0 × 39.0	
62	三行書「佳竟我貢……」	"	"	153.3 × 51.4	
63	五言絶句三行書「但有喚陰……」	"	"	132.0 × 45.4	
64	五言絶句三行書「雷起龍門……」	"	"	146.0 × 51.1	
65	七言絶句四行書「分明樓閣……」	"	"	149.7 × 76.4	
66	宿彈琴峠 五言絶句三行書	"	"	150.4 × 58.3	
67	"	"	"	135.9 × 52.7	
68	九月過大姑舟中 五言絶句三行書	"	"	150.8 × 57.8	
69	"	"	"	135.9 × 52.7	
70	戊戌元旦 五言絶句四行扇面	"	"	14.6 × 42.8	
71	七字横書「一江春水濃于酒」	絹本	"	10.5 × 25.5	
72	六行書「天地之分……」	紙本	"	149.0 × 59.0	
73	五字書「漢臣平陽候」	"	"	108.7 × 32.8	
74	七字書「家内繁昌七福神」	"	"	137.5 × 41.0	
75	五言絶句三行書「採葵莫傷……」	"	"	134.5 × 40.1	
76	五言絶句三行書「霜菊植幽……」	"	"	147.3 × 60.3	
77	五言絶句四行書「門逕附清……」	"	"	147.4 × 78.0	
78	二行書「兄光作尊……」	"	"	145.7 × 65.8	
79	五字書	"	"	137.5 × 44.8	
80	五言絶句三行書「道春脱春……」	"	"	149.7 × 67.2	
81	五言絶句三行書「九月……」	"	"	176.8 × 67.0	
82	一行書「天青雲白……」	"	双 幅	各151.8×26.5	
83	二字横書「吉雨」	"	一 幅	131.4 × 63.1	
84	七字名号「南無觀世音菩薩」	"	"	104.8 × 19.6	
85	三大字「柔而剛」	"	"	104.0 × 37.5	
86	十七帖臨書屏風「十七日先……」	"	六曲一双	各138.6×315.0	
87	四字横書「聖代文明」	"	一 面	81.4 × 288.0	伊万里市役所
88	寒山詩屏風「吾心似秋……」	"	六曲一双	(各扇)132.5×58.0	
89	四字横書「金剛輪堂」	"	一 面	76.0 × 174.5	妙観院(小城郡三日月町)
90	絶筆書筒	"	一 卷	32.3 × 124.5	
91	硯		二 面		小城町立桜岡小学校
92	筆		六 本		"
93	印 章		三 九 顆		

### 3. 企画展

京都国立近代美術館所蔵

近代洋画名作展

主 催 京都国立近代美術館、佐賀県教育委員会、  
佐賀県立美術館

会 期 昭和60年5月11日(土)~6月2日(日)

会 場 佐賀県立美術館 2号、3号、4号展示室

観覧料 大人 大・高生 中・小生  
個人 500円 250円 150円

団体 (400) (150) (100)

展示概要

京都国立近代美術館では、新館建築にともない、

昭和59年、60年に巡回展を開催した。その2年目にあたる今回の展観は、近代洋画の主要な作家の作品によって、大正から現代にいたる近代洋画の流れを

具体的に見るものであった。現代の作品の展示はとりわけ好評であった。



#### 出品作品

	作家名	作品名	制作年		作家名	作品名	制作年
あ	鏡 嘴 相笠昌義	Rainbow Clocks 日常生活・地下鉄を待 つ人	1969 1978	さ	斎藤真一 斎藤真成 斎藤義重	上河原の陽 人々 作品7	1973 1955 1960
	麻田 浩 足立源一郎	赤い土の上の出来事'76 チューリップ	1976 1917	い	佐伯祐三 坂本繁二郎	裏街の廣告 放水路の雲	1927 1927
	阿部展也	R-49	1970		里見勝藏	二馬図(壁画下図)	1943
	荒井龍男	森の部分	c.1935		女		1929
	有馬さとえ	「むすめ」の像	1939		沢部清五郎	少女像	1912
い	石垣栄太郎	鞭打つ	1925	し	芝田米三	めざめる大地	1979
	猪熊弦一郎	Voice (Manhattan)	1965	す	菅井汲	時速280キロ	1965
う	牛島憲之 宇治山哲平	晩春 王者	1954 1970		須田国太郎	少女 鶴	1934 1952
お	大久保作次郎	街角の魚店	1927	そ	曾宮一念	スペインの野	1969
	岡田謙三	入江	1973	た	高橋秀	受胎告知	1970
	小野木学	風景	1974		田中善之助	女	1911
か	香月泰男	奇術	1958		田渕安一	三相万華Ⅳ	1972
	金山平三	発荷の旧道より	1945-56		田村一男	れいめい	1980
	加納光於	<胸壁にて>-RG	1980	つ	津田青楓	研究室に於ける河上肇像	1926
	川島猛	N. Y. 75~J. T. ~75	1975	と	堂本尚郎	惑星B, R, W	1972
	川端実	灰色のフォルム	1974	な	中川紀元	風景	1920
き	岸田劉生	麗子弾絃図	1923		中川直人	白い天使	1973
く	国吉康雄	鶴に餌をやる少年	1923		鍋井克之	月光と海水	1956
	熊谷守一	化粧	1956		難波田龍起	原始象形	1958
		獅子頭	1974	の	野口謙藏	水村雪後	1938
こ	小出権重	横たわる裸女(B)	1928	は	長谷川潔	白い花瓶に挿した薔薇	c.1938
	小林和作	秋山	1971			その他	

	作 家 名	作 品 名	制作年		作 家 名	作 品 名	制作年
は	長谷川三郎 長谷川利行 長谷川 昇	自然 女 黒髪	1953 1932 1968	み	三雲祥之助 三井文二	パリスの審判 友達の肖像(大畑為三郎像)	1957 1920
ひ ふ	平賀 敬 藤島武二 藤田嗣治	H氏の優雅な生活 花籠 メキシコに於けるマド レース	1972 1913 1934	も や	森 芳雄 安井曾太郎 山口 薫 山口 長男	石膏のある静物 桃 季節の哀歎「田園と鳥」 二つの交叉	1953 1950 1953 1958
ま み	前田寛治 三尾公三	ポーランド人の姉妹 回想の刻	1923 1980	よ	吉原治良	作品(黒地に白円)	1968

### その他の企画展(美術館)

展 覧 会 名 称	主 催
舟一朝造形展	舟一朝
第16回正筆会菁華展・第6回三礼会展	三礼会
第68回佐賀美術協会展	佐賀美術協会、佐賀県立美術館
第10回佐賀県書作家協会展	佐賀県書作家協会、佐賀県立美術館
第2回佐賀県写真協会展	佐賀県写真協会
第6回二科会佐賀支部展	二科会佐賀支部、佐賀新聞社
独立C・S展	佐賀独立C・S
武雄市絵画クラブ10周年記念佐賀展	武雄市絵画クラブ
第34回緑光会展	緑光会
第5回日韓文化交流展	佐賀新聞社、二科会佐賀支部デザイン部、九州新工芸家連盟 佐賀国際交流協会、大韓産業美術家協会、佐賀県立美術館
第13回七夕書道展	佐賀県書道教育連盟、佐賀県立美術館
E V E N T '85	E V E N T実行委員会
第17回佐賀県労働者美術展	佐賀県、佐賀県立美術館
第6回九州新工芸展	九州新工芸家連盟、佐賀県立美術館
昭和60年度日本芸術院美術展	佐賀新聞社、佐賀県立美術館
農協共済小中学生第11回交通安全ポスター展 第21回書道展	佐賀県農協共済連
第35回佐賀県美術展	佐賀県、佐賀県教育委員会、佐賀県立美術館、佐賀県立博物館
第9回佐賀県高等学校芸術祭 美術・書道展	佐賀県教育委員会、佐賀県高等学校教育研究会芸術部会、佐賀県高等学校美術連盟、佐賀県高等学校書道教育研究会

会期	会場	展示概要
4/23~4/29	美術館4号	音と彫刻作品による展示。
5/2~5/6	美術館3,4号	正筆会及び三礼会会員の書129点を展示。
6/8~6/16	美術館2,3,4号	佐賀美術協会会員、会友の作品を中心に一般公募も含め、日本画、洋画、彫塑、工芸322点を展示。
6/19~6/23	美術館4号	佐賀県書作家協会会員及び一般公募の作品172点を展示。
7/10~7/14	美術館4号	佐賀県写真協会会員の作品197点を展示。
7/17~7/21	美術館4号	二科会佐賀支部会員、会友による絵画、デザイン、写真118点を展示。
7/24~7/28	美術館4号	独立美術協会佐賀支部員の平面作品約40点。
7/31~8/4	美術館4号	武雄市絵画クラブ会員による作品59点を展示。
8/7~8/11	美術館4号	緑光会会員による油絵52点を展示。
8/14~8/18	美術館4号	日韓の文化交流を計る目的で開催する美術展で工芸、デザイン159点を展示。
8/21~8/25	美術館4号	小、中、高校生及び一般公募の作品約800点展示。
8/28~9/1	美術館4号	E V E N T 実行委員会会員の現代絵画約50点。
9/4~9/8	美術館4号	県内の勤労者から公募した美術展。絵画、写真、書、工芸の4部門で170点を展示。
9/7~9/16	美術館2,3号	九州新工芸家連盟の会員、会友及び一般公募の染織、陶芸、木竹等125点を展示。
9/20~10/13	美術館2,3,4号	日本芸術院所蔵作品による特別展、日本画、洋画、工芸、書の各部門にわたって紹介するもので秀作96点。
10/16~10/20	美術館4号	交通安全ポスター、書道入選作品約400点。
11/1~11/10	美術館2,3,4号	日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真、デザインの各部門で県内から一般公募を行い、入選作に審査員及び物故者の作品を加え449点を展示。
11/16~11/24	美術館2,3,4号	本県高等学校美術教育の振興と高校生の芸術文化活動の交流及びその向上をはかるもので絵画・書等約300点を展示。

展覧会名称	主催
第26回佐賀県学童美術展	佐賀県造形教育研究会
第5回九州二科会写真部公募展	二科会写真部九州地区
第9回エマ会展	エマ会
第6回佐賀新聞学生書道展	佐賀新聞社
'86さが行動展	さが行動会
第8回二紀佐賀グループ展	二紀会
第31回書初書道展	佐賀県書道教育連盟、佐賀県立美術館
第30回佐賀大学教育学部美術工芸科卒業制作展	佐賀大学教育学部
第15回九州グラフィックデザイン展	九州文化協会、九州グラフィックデザイン協会、九州各県、北九州市、福岡市、九州各県教育委員会
佐賀県現代美術展	佐賀新聞社、佐賀県立美術館

#### 昭和60年度美術館観覧状況調べ

##### 企画展

	個人			団体		
	大人	大高	中小	大人	大高	中小
舟一朝造形の世界	210		150			
第16回正箏会青華展 第6回九州正箏会展	325	17	101			
近代洋画名作展	2,841	228	238	109	1,196	2,320
第68回佐賀美術協会展	2,832	413	640			132
第10回佐賀県書作家協会展	1,026	745	54			
第2回佐賀県写真協会展	829	13	99			43
第6回二科会佐賀支部展	575	23	65		90	
独立C S展	793	88	139	36		
武雄市絵画クラブ10周年記念佐賀展	419	79	102			
第34回緑光会展	1,098	91	471			
第5回日韓文化交流展	624	81	165			
第13回七夕書道展	1,376	299	515			

会期	会場	展 示 概 要
11/27~12/1	美術館2,3号	県内小・中学生による絵画、デザイン、クロッキーの特選作等約600点。
11/27~12/1	美術館4号	九州七県にわたる二科会写真部、及び一般公募作品の中から選ばれた145点を展示。
12/11~12/15	美術館4号	エマ会会員73名による油絵、水彩等110点を展示。
12/18~12/22	美術館4号	県内の小、中、高校生を対象としたもので、銅賞以上に選ばれた作品200点を展示。
1/21~1/26	美術館4号	行動会会員10名による油絵、水彩等を展示。
1/29~2/2	美術館4号	二紀佐賀グループ10名による油絵約45点。
2/5~2/9	美術館4号	小、中、高校生及び一般公募の書約790点を展示。
2/19~2/23	美術館4号	佐賀大学教育学部美術工芸科の卒業制作作品、西洋画、日本画、彫塑、デザイン、窯芸、染織、金工、木工など約100点を展示。
2/26~3/2	美術館4号	九州各県からの公募による優秀作品と九州グラフィックデザイン協会会員の作品150点を展示。
3/8~3/30	美術館2,3,4号	各種公募美術展、書道展等で、近年、特に顕著な活躍が見られる県内及び県出身作家の代表作148点を日本画、洋画、彫刻、工芸、書の5部門にわたり紹介。

観覧料免除			招待者	優待者	合計	開館日数	一日平均	期間
大人	大高	中小						
					360	7	51	4/23~4/29
					443	5	89	5/2~5/6
			733	232	7,897	20	395	5/11~6/2
					4,017	8	502	6/8~6/16
			1		1,826	5	365	6/19~6/23
					984	5	197	7/10~7/14
					753	5	151	7/17~7/21
					1,056	5	211	7/24~7/28
			6		606	5	121	7/31~8/4
					1,660	5	332	8/7~8/11
					870	5	174	8/14~8/18
					2,190	5	438	8/21~8/25

	個 人			團 体		
	大 人	大 高	中 小	大 人	大 高	中 小
イ ベ ン ト '85	693	60	131			
第 17 回 佐 賀 県 勤 労 者 美 術 展	1,082	31	189	32		178
第 16 回 九 州 新 工 芸 展	2,070	120	435	6	112	401
昭 和 60 年 度 日 本 芸 術 院 美 術 展	5,720	345	846	2,145	2,409	5,740
農 協 共 濟 小 中 学 生 第 11 回 交 通 安 全 ポ ス タ ー・ 第 21 回 書 道 展	641		462	38		100
第 35 回 佐 賀 県 美 術 展	4,000	275	650	355	157	220
第 9 回 佐 賀 県 高 等 学 校 芸 術 祭 美 術 書 道 展	933	510	235	52	803	22
第 26 回 佐 賀 県 学 童 美 術 展	1,437	42	940	34		493
第 5 回 九 州 二 科 会 写 真 部 公 募 展	948	19	246			106
第 9 回 工 マ 会 展	740	24	89			
第 6 回 佐 賀 新 聞 学 生 書 道 展	414	21	343			
さ が 行 動 展	572	79	151	21		
第 8 回 二 紀 佐 賀 グ ル ー プ 展	548	93	47			63
第 31 回 書 初 書 道 展 覧 会	748	4	527			
佐 賀 大 学 特 美 卒 業 制 作 展	769	368	174			344
第 15 回 九 州 グ ラ フ ィ ク デ ザ イ ン 展	389	108	86			
佐 賀 県 現 代 美 術 展	3,972	378	1,277	20	126	684
計	38,624	4,554	9,567	2,848	4,893	10,846

ホール・画廊・研修室催しもの

美術館ホール利用状況

月別	利用団体数	延入場者数	音 樂	演 剧	洋舞、邦舞	映 写 会	そ の 他
4	9	2,352人	8				1
5	14	3,591	8		2	1	3
6	15	4,797	9		1	2	3
7	14	4,738	11	1	1		1
8	21	5,094	15	1		2	3
9	12	3,136	5	1	2		4
10	15	3,958	8		1	2	4
11	11	5,075	6	1	1	1	2
12	16	4,228	10	1	4		1
1	9	2,141	7	1			1
2	13	3,506	8		1	1	3
3	11	7,023	7	3		1	
計	160	49,639	102	9	13	10	26

画廊・研修室利用状況(60年度)

月別	展 覧 会			そ の 他	
	利用団体数	延会期日数	入場者数		
4	3	12	408	1. 映 写 会	回
5	3	23	767	2. 講 演 会	3回
6	1	4	724	3. 研 究 会	14回 (老人大学) デッサン教室
7	1	5	392	4. 展覧会準備、控室	56回
8	0	0	0	5. ホール催物控室	11回
9	3	15	2,091		
10	3	9	357		
11	3	14	1,453		
12	4	10	1,064		
1	5	24	2,094		
2	4	16	1,482		
3	4	15	1,179		
計	34	147	12,011	計	84回

# 資料の概要

美術館

## 1. 昭和60年度 購入資料

### (1) 美術資料

資料名	作者	数量	品質・形状	備考
歴史画	高取稚成	1	絹本着色	85.2×49.3cm
フローレンス風景	岡田三郎助	1	絹・水性絵具	22.0×28.1cm
チマブエ像	岡田三郎助	1	ブロンズ	13.5×12.0×2.5cm
二行書	西川春洞	1	紙本墨書・掛幅	131.0×31.9cm
藤に草花図	北島浅一	1	油彩・紙本銀地着色	161.7×185.0cm
裸婦	北島浅一	1	油彩・キャンヴァス	60.6×72.7cm
英國風景	高木背水	1	油彩・キャンヴァス	40.3×33.8cm
フランス風景	武藤辰平	1	油絵・キャンヴァス	116.2×116.2cm
白梅	三根霞郷	1	紙本水墨	42.0×51.5cm
田園の孤橋	三根霞郷	1	紙本水墨	135.8×45.3cm
渓流の石橋	三根霞郷	1	紙本水墨	135.5×46.3cm
石渓	三根霞郷	1	紙本水墨	135.0×45.5cm
けいとう	三根霞郷	1	紙本水墨	113.0×34.5cm
樹下遊童	三根霞郷	1	紙本水墨	134.5×45.0cm
若松の丘	三根霞郷	1	紙本水墨	45.0×54.2cm
初夏	三根霞郷	1	紙本水墨	134.0×46.0cm
丘陵の若松	三根霞郷	1	紙本水墨	45.6×54.7cm
雑木林(Ⅰ)	三根霞郷	1	紙本水墨淡彩	42.2×53.2cm
作品C	江口良	1	油絵・キャンヴァス	145.3×97.0cm
作品E	江口良	1	油絵・キャンヴァス	130.5×89.5cm
作品	中島快彦	1	石膏磁器貼	97.0cm
無題	中島快彦	1	石膏漆塗	62.0cm
パレー2題B	中島快彦	1	ブロンズ	36.0cm
パレー3題	中島快彦	1	ブロンズ	25.5cm
E-13	中島快彦	1	ブロンズ	21.5cm
道化師	三塙清巳	1	油絵・キャンヴァス	163.0×130.0cm
				昭和53年 (1978)

資料名	作者	数量	品質・形状	備考
戦国に想う	吉田進一	1	油絵・カンヴァス 161.7×130.0cm	昭和59年 (1984)
樹下	山本民二	1	ブロンズ 29.5×17.0cm	昭和40年 (1965)
観音	山本民二	1	ブロンズ 37.5cm	昭和45年 (1970)
春	山本民二	1	ブロンズ 46.0cm	昭和48年 (1973)
フローラ	山本民二	1	ブロンズ 50.0cm	昭和54年 (1979)

(2) 工芸資料

資料名	作者	数量	品質・形状	備考
鍋島段通蔓牡丹文	吉島義子	1	木綿糸 95.0×191.0cm	昭和59年 (1984)
鍋島段通蟹牡丹文	吉島義子	1	木綿糸 95.0×191.0cm	昭和60年 (1985)
ガラス皿 夜明け	副島太郎	1	ガラス 42.1×8.9cm	昭和60年 (1985)
瑠璃色器	副島太郎	1	ガラス三脚付鉢 23.8×16.2cm	昭和57年 (1982)

## 2. 昭和60年度 寄贈資料

(1) 美術資料

資料名	作者	数量	品質・形状	寄贈者
赤い服の人形	甲斐仁代	1	油彩・板 36.5×23.8cm	東京都中央区銀座 鈴木康子
薔薇	甲斐仁代	1	油彩・板 44.0×27.0cm	" "
仮説	江口良	1	油彩・カンヴァス 161.8×162.0cm	東京都町田市鶴川 江口サワ子
扉	江口良	1	油彩・カンヴァス 80.5×99.5cm	"
8月15日の意味	江口良	1	油彩・カンヴァス 162.0×130.0cm	"
新秋	山本民二	1	石膏 175.0cm	東京都練馬区中村北 山本民二
合唱	久富邦夫	1	油彩・カンヴァス 162.2×130.3	佐賀市本庄町鹿子 久富邦夫
踊子たち	久富邦夫	1	油彩・カンヴァス 162.2×130.3cm	"
窓外雨季	久富邦夫	1	油彩・カンヴァス 162.2×130.3cm	"
有明海への道	久富邦夫	1	油彩・カンヴァス 162.2×130.3cm	"
輝いて	牧野宗則	1	木版画 31.8×22.4cm	静岡市北安東一丁目 牧野宗則
満たされて	牧野宗則	1	木版画 31.8×22.4cm	"
慈しみを染めて	牧野宗則	1	木版画 49.3×35.3cm	"
月華のままに	牧野宗則	1	木版画 49.3×35.3cm	"
歛びの朝	牧野宗則	1	木版画 49.3×35.3cm	"

資料名	作者	数量	品質・形状	寄贈者
光る道	牧野宗則	1	木版画 49.3×35.3 cm	静岡市北安東一丁目 牧野 宗則
悠久の刻	牧野宗則	1	木版画 34.8×49.7 cm	"
一行書(南無観世音菩薩)	中林梧竹	1	紙本墨書 130.5×12.6 cm	東京都新宿区百人町 小寺 明子
鎮国之山 手拭	中林梧竹	1	木綿・印刷 93.0×31.5 cm	"
中林梧竹 写真		1	11.1×15.5 cm	"
中林梧竹関係写真		66	アルバム	"
対談テープ		1	径 12.5 cm	"

(2) 工芸資料

資料名	作者	数量	品質・形状	寄贈者
木漆象嵌葦文箱	金聖洙	1	木製 29.5×55.2×22.8 cm	大韓民国ソウル特別市 金聖洙
紅彩(三脚付鉢)	副島太郎	1	ガラス(グラビュール 加飾) 27.2×14.3 cm	佐賀市道祖元町 副島太郎

3. 昭和60年度 寄託資料

(1) 美術資料

資料名	作者	数量	品質・形状	寄贈者
花野	岡田三郎助	1	油彩・カンヴァス 65.0×91.0 cm	佐賀市材木二丁目 武藤 愛子
花(ルドン模写)	武藤辰平	1	油彩・カンヴァス 61.0×61.0 cm	"
カルタとり(セザンヌ模写)	武藤辰平	1	油彩・カンヴァス 46.0×55.0 cm	"
青い花瓶(セザンヌ模写)	武藤辰平	1	油彩・カンヴァス 55.0×46.0 cm	"
ハーグ市街	武藤辰平	1	油彩・カンヴァス 45.0×53.0 cm	"
春(ミレー模写)	武藤辰平	1	油彩・カンヴァス 86.0×111.0 cm	"
風景(セザンヌ模写)	武藤辰平	1	油彩・カンヴァス 50.0×60.7 cm	"
七言絶句四行書	副島種臣	1	紙本・墨書 182.2×93.8 cm	"
織月帰舟図	青木繁	1	油彩・カンヴァス 49.5×60.5 cm	佐賀市材木一丁目 野中万太郎

佐賀県博物館・美術館協議会委員名簿(定員15名)

区分	氏 名	役 職 (現職名)	〒	住 所
社会関 会校係 教育者	山 下 達 雄	佐賀県公民館連合会会長	840	佐賀市愛敬町4-10
	中 村 司	佐賀県高等学校長協会代表	841	鳥栖市古野町561の2
	平安寺 扶	佐賀県小・中学校長会代表	845-23	小城郡小城町松尾3965
学 識 経 験 者	佐 藤 久 子	佐賀県婦人連絡協議会会長	849-41	西松浦郡西有田町山谷乙231
	大 塚 巍	佐賀県文化団体協議会会長	840	佐賀市本庄町本庄宮前1137-23
	栗 山 重 司	佐賀県理科教育振興会代表	840-03	佐賀市金立町薬師丸981
	三 好 不二雄	佐賀大学名誉教授	840	佐賀市赤松町11-11
	石 本 秀 雄	佐賀大学名誉教授 日展評議員	840	佐賀市中ノ小路9-29
	原 岡 一 馬	佐賀大学教育学部教授	816	福岡県大野城市平野台1-4-23
	平 田 寛	九州大学文学部教授	811-34	福岡県宗像市日の里5-3-31
	岩 永 京 吉	佐賀県美術協会会长 佐賀大学名誉教授	849-13	鹿島市大手565-1
	岡 崎 敏	九州大学文学部教授	813	福岡市東区香住ヶ丘3-20-15
	池 田 貞 美	佐賀大学教育学部教授	849-02	佐賀市嘉瀬町十五1354
	中 江 八 束	佐賀県議会議員	849-16	藤津郡太良町糸岐1435
	稻 田 繁 生	佐賀新聞社編集局長	840	佐賀市北川副町光法1499-16

佐賀県博物館及び美術館協議会開催状況

60. 7. 13

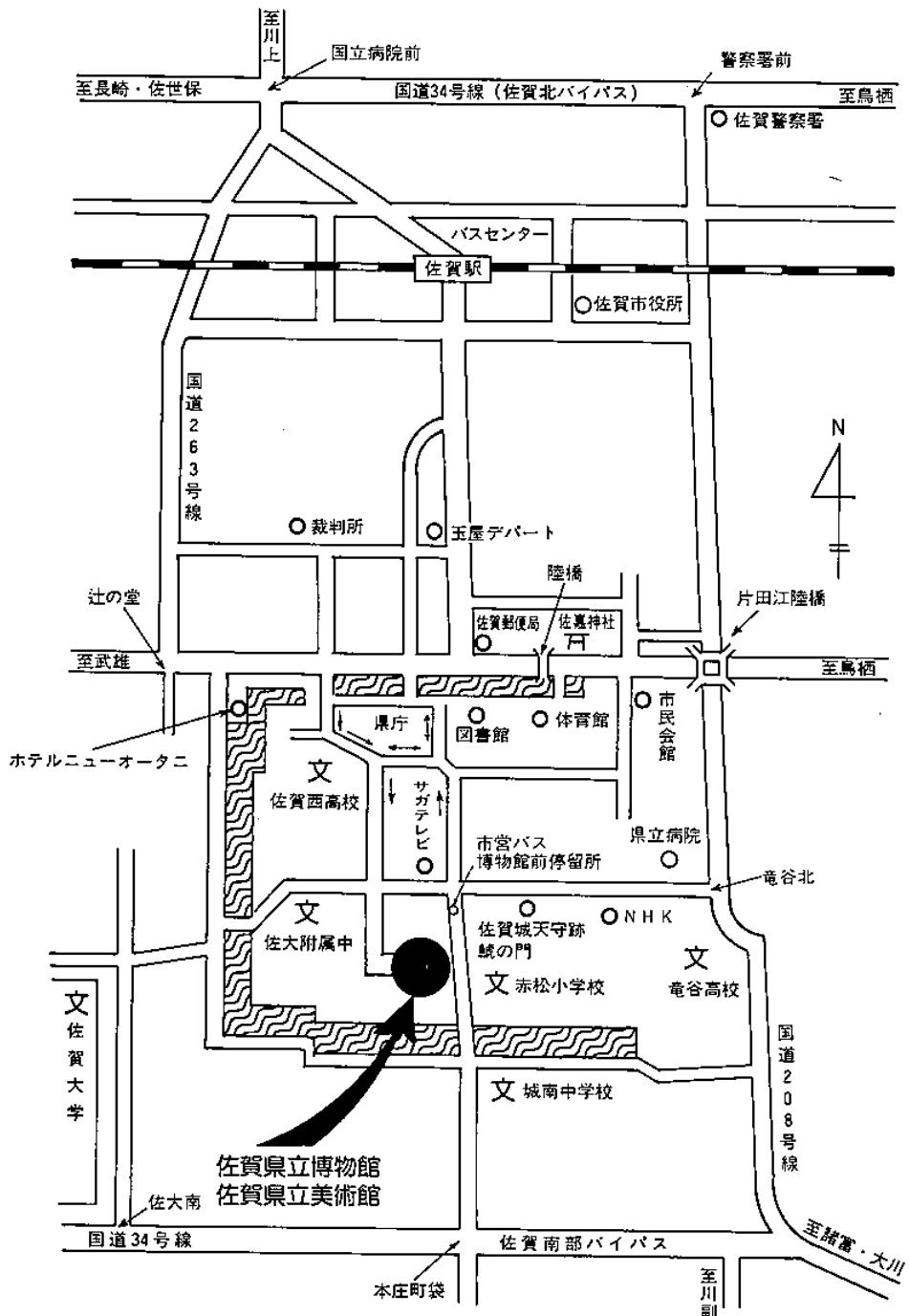
- 議 題 (1) 昭和60年度事業計画について  
 (2) 昭和60年度予算について  
 (3) そ の 他

61. 3. 1

- 議 題 (1) 昭和61年度事業計画案について  
 (2) 昭和61年度予算案について  
 (3) そ の 他

職員名簿(昭61.4.1現在)

	職名	氏名		職名	氏名
館長		大塚正道	学芸課 資料係 企画普及係	学芸課長	小宮睦之
副館長		神宮忠義		資料係長	森 醇一朗
副館長		高島忠平		主査	藤口健二
総務課	総務課長	溝口洋		主査	宮原香苗
	主査	中村美沙子		学芸員	福井尚寿
	主査	古川宣明		非常勤嘱託	浜野四郎
	主事	大島暁夫		企画普及係長 事務取扱	田中裕
	主事	石田誠		学芸員	松本誠一
	主事	中島恭助		学芸員	大隈博文
	事務員	坂井卓次		学芸員	山崎和文
	事務員	小石武彦			
	技術員	戸川内匠			
	非常勤嘱託	梶月勝次			



佐賀駅バスセンターから市営バス博物館前下車、または各バス（昭和・祐徳・市営）で県庁前下車、南へ600m。

佐賀県立博物館 年報 第16号  
佐賀県立美術館

発行年月日 昭和61年9月1日

編集発行 佐賀市城内1丁目15-23

佐賀県立博物館  
佐賀県立美術館

印刷 誠文堂印刷株式会社